































同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

中 ス 釜  
平 洞 洞 洞 畔

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同





○農商務省告示第五十七號

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ所轄地方長官ニ於テ告示シタル左記ノ保安林ハ之ヲ解除セス

明治四十一年六月二十五日

農商務大臣 松岡康毅

國 郡 大字 字

磐城 小石瀨 稻田 岩淵 小仲井

地番

面積

○農商務省告示第五十八號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十一年六月二十五日

農商務大臣 松岡康毅

國 郡 大字

美作 英田 大原 古町

朝霧山

面積

○農商務省告示第五十九號

日本大博覽會規則左ノ通相定ム

明治四十一年六月二十七日

農商務大臣 松岡康毅

第一章 總則

第一條 本會會場ハ東京市青山練兵場、其ノ附近及東京府豐多摩郡代々木御料地並之ヲ連接スル土地ヲ以テ之ニ充ツ但シ水族館ノ位置ハ別ニ之ヲ定ム

第二條 本會ハ明治四十五年四月一日之ヲ開キ同年十月三十一日之ヲ閉ツ

第三條 本會ハ各國ノ政府及人民ノ參同ヲ招請ス

第四條 參同國ハ事務官ヲ本會ニ派遣スルコトヲ得

事務官ヲ派遣セサル外國ノ出品人ハ總代ヲ選定シ事務局ニ通知スヘシ

事務局ト外國出品人トノ交渉ハ事務局ト事務官又ハ出品人總代トノ間ニ於テ之ヲ爲スヘシ但シ事務局ハ必要ト認ムルトキハ直接ニ出品人ト交渉スルコトアルヘシ

第五條 會場内ニ於ケル外國政府館ノ敷地ニ對シテハ使用料ヲ徵收セス

第六條 事務局ハ出品ノ保護ニ關シ相當ノ設備ヲ爲スヘシト雖出品ノ紛失其ノ他ノ損害ニ對シテハ原因ノ如何ヲ問ハス一切其ノ責ニ任セス建物其ノ他ノ建設物ニ付テモ亦同シ

第七條 建物其ノ他ノ建設物内ニ於テハ事務局ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外火ヲ用井ルコトヲ禁ス但シ電燈ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 會場ノ光景ヲ模寫シ又ハ脚付寫眞器械ヲ以テ撮影セムトスル者ハ事務局ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 會場内ニ於テ貼紙、引札、散紙等ノ方法ヲ以テ廣告スルコトヲ得ス但シ第三十八條ノ場合及事務局ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條 本則其ノ他本會ニ關スル諸規則、命令又ハ處分ニ對シ利害關係者ハ異議ノ申立ヲ爲シ又ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十一條 本則其ノ他本會ニ關スル諸規則ハ必要ト認ムルトキハ其ノ規定ヲ變更シ又ハ追加スルコトアルヘシ

第十二條 本會ニ關與スル者ハ本則其ノ他本會ニ關スル諸規則及命令ヲ遵守スヘシ

本會ニ關與スル者ニシテ前項ノ規則又ハ命令ニ依ル義務ヲ履行セサルトキハ事務局ハ適宜ノ處分ヲ爲シ且ツ之カ爲ニ要シタル費用ヲ本人ヨリ追徴スルコトアルヘシ

第二章 出品

第一節 通則

第十三條 本會ニ出品セムトスル者ハ別ニ定ムル出品部類目錄ニ據ルヘシ

第十四條 出品ハ左ノ二十一部ニ大別シ更ニ之ヲ類ニ細別ス

- 第一部 教育
- 第二部 學藝
- 第三部 美術
- 第四部 美術工藝
- 第五部 農業
- 第六部 園藝
- 第七部 畜産
- 第八部 蠶絲業
- 第九部 林業及狩獵
- 第十部 水産
- 第十一部 飲食品
- 第十二部 採鑛及冶金
- 第十三部 化學工業
- 第十四部 染織工業
- 第十五部 製作工業
- 第十六部 建築及室内裝飾
- 第十七部 機械及船舶
- 第十八部 電氣
- 第十九部 土木及通運
- 第二十部 經濟及衛生

第二十一部 陸海軍

第十五條 出品陳列ノ爲左ノ十六館ヲ設備ス

- 教育館 第一部ノ出品
  - 學藝館 第二部及第二十部ノ出品
  - 美術館 第三部及第四部ノ出品
  - 農業館 第五部及第七部中家畜、家禽、各種馴養動物以外ノ出品
  - 園藝館 第六部ノ出品
  - 家畜館 第七部中家畜、家禽及各種馴養動物ノ出品
  - 蠶業館 第八部ノ出品
  - 林業館 第九部ノ出品
  - 水産館 第十部ノ出品
  - 食料館 第十一部ノ出品
  - 鑛産館 第十二部ノ出品
  - 工業館 第十三部、第十四部、第十五部及第十六部ノ出品
  - 機械館 第十七部ノ出品
  - 電氣館 第十八部ノ出品
  - 通運館 第十九部ノ出品
  - 陸海軍館 第二十一部ノ出品
- 第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ出品スルコトヲ得ス
- 一 明治三十五年十二月以前ニ於テ採取、産出、加工、製作又ハ製造シタルモノ但シ養成ニ係ル動物ハ此ノ限ニ在ラス

二 左ニ掲クル畜産

明治三十八年十二月以前又ハ明治四十四年一月以後ニ於テ産出シタル馬

明治四十年四月以前又ハ明治四十四年一月以後ニ於テ産出シタル牛

明治四十五年二月以後ニ於テ産出シタル家禽

明治四十五年三月以後ニ於テ産出シタル豚、綿羊又ハ山羊

風俗若ハ秩序ヲ紊リ又ハ衛生ヲ害スル虞アリト認ムルモノ

四 他ニ損害ヲ及ボシ若ハ公衆ニ嫌忌ノ感ヲ與ヘ又ハ危險ノ虞アリト認ムルモノ

五 前各號ニ掲クルモノノ外物品ノ種類、性質等ニ依リ出品ノ價値ナシト認ムルモノ

第十七條 發火、爆裂其ノ他危險ノ虞アルモノト雖包裝又ハ模型ヲ以テ出品スルコトヲ得

第十八條 出品人ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一 出品物ノ採取、産出、加工、製作又ハ製造ヲ爲シタル者

二 出品物ノ採取、産出、加工、製作又ハ製造ニ參與シ之ヲ販賣スルヲ以テ業トスル者但シ第三部

及第四部ノ出品ニ付テハ其ノ加工、製作又ハ製造ニ參與シタル者

第十九條 出品人ノ承諾ヲ得且ツ事務局ノ許可ヲ受クルニ非サレハ出品ヲ模寫又ハ撮影スルコト

ヲ得ス

第二十條 出品ノ陳列場所ニ對シテハ使用料ヲ徴收セス

第二十一條 出品ニ要スル水及蒸氣、竝機械ノ運轉ニ要スル蒸氣、瓦斯及電氣ノ動力ハ無料ニテ之ヲ

供給ス但シ其ノ數量又ハ使用時間ハ之ヲ制限スルコトアルヘシ

前項ニ依リ水、蒸氣、瓦斯又ハ電氣ノ供給ヲ受クルトキ及原軸ニ依リ動力ノ傳導ヲ受クルトキ之

ニ要スル支管、支軸、滑車、調帶、電線等ノ設備及其ノ費用ハ出品人ノ負擔トス

第二十二條 出品ノ荷造、荷解、輸送、稅關手續、保險、空箱類ノ保存、陳列箱若ハ陳列臺ノ調製、陳列、裝

飾、陳列場所ノ洒掃等及之ニ要スル費用ハ出品人ノ負擔トス

第二十三條 出品ノ説明、賣約、保管等ハ出品人ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十四條 出品人ノ使用スル被傭人ノ行爲ニ付テハ出品人其ノ責ニ任スヘシ

前項ノ被傭人ニシテ不都合ノ行爲アリト認ムルトキハ事務局ハ其ノ入場ヲ差止ムルコトアルヘ

シ

第二十五條 出品人ニシテ出品ト同種ノ物品ヲ即賣セムトスルトキハ陳列館外ニ於テ別ニ賣店ヲ

設ケテ之ヲ爲スヘシ

第二十六條 事務局ハ通路ノ變更其ノ他必要ノ事由アルトキハ陳列場所ノ變更又ハ其ノ面積ノ増

減ヲ命スルコトアルヘシ

第二十七條 出品ノ搬入及陳列ハ明治四十四年十二月一日ヨリ明治四十五年三月十日迄ニ之ヲ爲

スヘシ

第二十八條 左ニ掲クル出品ハ左ノ期間内ニ搬入及陳列ヲ爲スヘシ

一 馬 明治四十五年四月二十六日ヨリ四月三十日迄

二 牛及家禽 明治四十五年六月一日ヨリ六月五日迄

三 豚、綿羊及山羊 明治四十五年七月六日ヨリ七月十日迄

前項ニ掲クル以外ノ畜産及蔬菜、果實、植物、養殖魚介ノ類ニ關シテハ事務局ニ於テ特ニ其ノ搬入

及陳列ノ期間ヲ指定スルコトアルヘシ

第二十九條 前二條ノ期間内ニ搬入又ハ陳列ヲ終ラサルトキ又ハ終ルコト能ハサルモノト認ムル

トキハ事務局ハ出品許可ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトアルヘシ

第三十條 出品人ハ他人ノ出品ノ陳列ニ要スル光線ヲ遮蔽シ又ハ他人ニ不利益ヲ與フルカ如キ

陳列又ハ裝飾ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 出品ノ陳列又ハ裝飾ノ爲陳列館ノ壁面又ハ其ノ他ノ構造ヲ使用スル工事を爲サムトスルトキハ事務局ノ許可ヲ受クヘシ

第三十二條 陳列箱若ハ陳列臺ノ据付其ノ他陳列ニ關スル工事を明治四十五年二月二十日迄ニ完成スヘシ

第三十三條 出品人ハ運轉ヲ爲ス機械ニ付テハ危害豫防ノ設備ヲ爲シ且ツ經驗アル者ヲシテ之ヲ管理セシムヘシ

前項ノ機械ハ事務局ノ指定期日ニ試運轉ヲ爲スヘシ

第三十四條 事務局ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外開會中陳列若ハ裝飾用ノ材料ヲ搬入シ又ハ陳列若ハ裝飾ニ關スル工事を爲スコトヲ得ス

第三十五條 事務局ノ命令又ハ許可ニ依ル場合ヲ除クノ外公衆ノ觀覽時間内ニ於テ陳列場所ニ繩張ヲ爲シ其ノ他出品ノ觀覽ヲ遮蔽若ハ防止スルコトヲ得ス

第三十六條 出品ニシテ腐敗、融解等ノ爲陳列ニ適セスト認ムルトキハ事務局ハ之ヲ撤去セシムルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テ事務局ハ更ニ同種物品ノ出品ヲ命スルコトアルヘシ

第三十七條 事務局ハ必要ト認ムルトキハ陳列又ハ裝飾ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第三十八條 出品人ハ其ノ陳列場所ニ於テ見本、引札等ヲ無償ニテ觀覽人ニ配付スルコトヲ得

第三十九條 出品ノ製造方法又ハ效用ヲ示ス爲ニ會場内ニ於テ製出シタル物品ハ事務局ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り之ヲ即賣シ又ハ無償ニテ配與スルコトヲ得

第四十條 出品人ニ於テ本則其ノ他本會ニ關スル諸規則又ハ命令ニ違背シタルトキハ事務局ハ出品ノ搬入ヲ差止メ又ハ出品若ハ陳列、裝飾用ノ器具、工作物等ヲ撤去セシムルコトアルヘシ

第四十一條 出品ハ事務局ノ命令又ハ許可ニ依ル場合ヲ除クノ外開會迄之ヲ撤去スルコトヲ得ス

第四十二條 出品ハ閉會後三箇月以内ニ之ヲ搬出スヘシ陳列若ハ裝飾用ノ器具、工作物等ニ付テモ亦同シ

第四十三條 左ニ掲グル出品ハ左ノ期間内ニ搬出スヘシ

一 馬

明治四十五年五月二十六日ヨリ五月三十一日迄

二 牛

明治四十五年六月二十一日ヨリ六月二十五日迄

三 豚、細羊及山羊

明治四十五年七月二十五日ヨリ七月二十九日迄

前項ニ掲グル以外ノ畜産及蔬菜、果實、植物、養殖魚介ノ類ニ關シテハ事務局ニ於テ特ニ其ノ搬出ノ期間ヲ指定スルコトアルヘシ

第四十四條 出品總目錄ハ日本文ヲ以テ事務局ニ於テ之ヲ發行ス

第二節 内國出品

第一款 第一部、第二部、第五部乃至第二十一部ノ出品

第四十五條 第一部、第二部、第五部乃至第二十一部ノ出品ノ出品人ノ資格ハ別ニ定ムル處ニ依ル

第四十六條 出品ヲ爲サムトスル者ハ明治四十四年三月三十一日迄ニ願書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

一 出品人ニ於テ産地ニ府縣以上ニ互ル同種ノ物品ヲ出品セムトスル場合又ハ二府縣以上ニ互ル同業者カ合同シテ出品セムトスル場合ニ於テハ前項ノ期限迄ニ願書ヲ事務局ニ差出シ且ツ其ノ旨ヲ關係地方長官ニ届出ツヘシ

外國在留ノ帝國臣民ニシテ出品ヲ爲サムトスルトキハ直接ニ事務局ニ願書ヲ差出スヘシ

第四十七條 左ニ掲グル出品ヲ爲サムトスル者ハ願書ニ其ノ陳列ニ關スル設計圖ヲ添ヘ明治四十四年一月三十一日迄ニ之ヲ差出スヘシ

一 鉅重ノ物品ニシテ特ニ基礎ノ構造ヲ要スルモノ

二 機械ノ運轉ニ動力ヲ要スルモノ

第四十八條 地方長官ハ出品願書ヲ取纏メ第四十六條又ハ第四十七條ノ期限後十五日以内ニ事務局ニ送付スヘシ

第四十九條 出品ノ陳列ニ付事務局ニ於テ特殊ノ事由アリト認メタルトキニ限り自費ヲ以テ陳列館ヲ建設スルコトヲ得

第五十條 陳列館ヲ建設セムトスル者ハ明治四十三年十一月三十日迄ニ出品ノ部類及建坪ヲ記載シタル願書ニ概略ノ設計及圖面ヲ添ヘ地方長官ヲ經テ事務局ニ差出スヘシ

前項ノ陳列館ニ水蒸氣、瓦斯又ハ電氣ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ種類、使用ノ目的及數量ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十一條 陳列館建設ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ出願ニ係ル部類ノ出品ニ付テハ出品ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第五十二條 陳列館ノ敷地ニ對シテハ使用料ヲ徴收セス

第五十三條 陳列館ニハ事務局ノ指定スル設備ヲ爲スヘシ

第五十四條 出品ノ許可ヲ受ケタル者ハ明治四十四年十一月三十日迄ニ出品目録ヲ第四十六條第四十七條又ハ第五十條ノ例ニ依リ地方長官又ハ事務局ニ差出スヘシ

地方長官ハ出品目録ヲ取纏メ前項ノ期限後十日以内ニ事務局ニ送付スヘシ

第五十五條 出品人ハ陳列場所ヲ他人ニ讓渡又ハ貸與スルコトヲ得ス

第二款 第三部及第四部ノ出品

第五十六條 第三部及第四部ノ物品ハ別ニ定ムル規程ニ依ル鑑査ニ合格シタルモノニ限り之ヲ出品スルコトヲ得

第五十七條 出品ヲ爲サムトスル者ハ明治四十四年五月三十一日迄ニ願書ヲ事務局ニ差出スヘシ

第五十八條 出品出願人ハ鑑査ヲ受ケル爲事務局ノ指定シタル期間内ニ其ノ出品ヲ指定ノ場所ニ差出スヘシ

第五十九條 事務局ニ於テ出品ヲ撮影シ又ハ印刷シテ之ヲ發賣スルモ出品人ハ之ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第六十條 出品ニ要スル陳列箱若ハ陳列臺ノ設備及出品ノ陳列、裝飾賣約保管ハ事務局ニ於テ之ヲ爲スヘシ但シ第四部ノ出品ニ要スル陳列箱又ハ陳列臺ノ調製費ハ出品人ノ負擔トス

第四部ノ出品ハ出品人ニ於テ自費ヲ以テ其ノ陳列又ハ裝飾ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ事務局ノ指揮ヲ受クヘシ

第三節 外國出品

第六十一條 出品ハ之ヲ採取、産出、加工、製作又ハ製造シタル地ニ依リ其ノ國籍ヲ定ム

第六十二條 左ニ掲グル出品ハ左ノ陳列館内ニ於テ之カ陳列場所ヲ配當ス

一 第一部教育ノ出品 教育館内

二 第二部學藝ノ出品 學藝館内

三 第三部化學工業、第十四部染織工業、第十五部製作工業、第十六部建築及室内裝飾ノ出品 工業館内

四 第十七部中機械ノ出品 機械館内

五 第十八部電氣ノ出品 電氣館内

第六十三條 外國ノ政府又ハ出品人團體ハ前條ニ掲グル以外ノ出品ヲ陳列スル爲自費ヲ以テ陳列館ヲ建設スルコトヲ得

前項ノ陳列館ニハ前條ニ掲グル出品ト雖之ニ陳列スルコトヲ得

第六十四條 陳列場所ハ事務官又ハ出品人總代ニ之ヲ配當スヘシ

第六十五條 陳列館ノ敷地ニ對シテハ使用料ヲ徵收セス

第六十六條 陳列館ニハ事務局ノ指定スル設備ヲ爲スヘシ

第六十七條 陳列場所配當ノ請求ハ明治四十四年一月三十一日迄ニ之ヲ爲スヘシ

左ニ掲クル出品ニ付テハ其ノ品名、重量、陳列容積、動力ノ種類及數量等ヲ請求書ニ明示スヘシ

一 鉅重ノ物品ニシテ特ニ基礎ノ構造ヲ要スルモノ

二 機械ノ運轉ニ動力ヲ要スルモノ

第六十八條 自費ヲ以テ建設スル陳列館ニ水、蒸汽、瓦斯又ハ電氣ヲ要スル場合ニ於テハ明治四十

四年一月三十一日迄ニ其ノ種類、使用ノ目的及數量ヲ申出ツヘシ

第六十九條 事務局又ハ出品人總代ハ明治四十四年十一月三十日迄ニ出品目錄二通ヲ事務局ニ送

付スヘシ

第七十條 出品ハ陳列館毎ニ各別ニ荷造ヲ爲スヘシ

第七十一條 出品ニ關スル荷物ハ東京日本大博覽會事務局宛ト爲シ事務局ヨリ交付スル票紙ヲ之

ニ貼附スヘシ

第七十二條 出品ニ關スル荷物ハ成ルヘク横濱稅關ヲ經由スヘシ

第三章 營業

第七十三條 會場内ニ於テ賣店、展覽會、觀物場、飲食店其ノ他ノ營業ヲ爲サントスル者ハ別ニ定ム

ル規定ニ從ヒ事務局ノ免許ヲ受クヘシ

第四章 入場及觀覽

第七十四條 觀覽時間ハ毎日午前八時ヨリ午後五時迄トス但シ日曜日及大祭祝日ニ在リテハ陳列

館外指定ノ場所ニ限リ午後十時迄入場ヲ許ス

事務局ハ前項ノ日時ヲ變更シ又ハ觀覽若ハ入場ヲ停止スルコトアルヘシ

第七十五條 本會ノ入場券ハ一枚金二十錢トス

日曜日及大祭祝日ノ入場券ハ一枚金三十錢トス

土曜日ノ入場券ハ一枚金十錢トス

毎月一日及十五日ノ入場券ハ其ノ日カ日曜日ニ該當スルトキニ於テモ一枚金十錢トス

夜間開場ノ日ニ於ケル觀覽時間後ノ入場券ハ一枚金十錢トス但シ觀覽時間内ニ入場シタル觀覽

者ニシテ引續キ場内ニ在ル者ハ本項ノ入場券ヲ要セス冷蔵庫ノ觀覽ニ付テハ入場券ノ外觀覽券

ヲ要シ一枚金五錢トス但シ日曜日及大祭祝日ニ在リテハ一枚金十錢トス

水族館ノ觀覽ニ付テハ觀覽券ヲ要ス其ノ料金ハ別ニ之ヲ定ム

五歳未満ノ小兒ハ入場券及觀覽券ヲ要セス

第七十六條 出品人、場内營業人及其ノ被備人ハ別ニ定ムル規程ニ依リ無料入場券ノ交付ヲ受ク

ルコトヲ得

第五章 審査及褒賞

第七十七條 出品ハ總テ之ヲ審査ス

外國出品又ハ官廳出品ニシテ豫メ審査除外ノ請求アリタルモノニ付テハ審査ヲ行ハサルコトヲ

得

第七十八條 出品人ハ前條第二項ニ掲クル場合ヲ除クノ外出品ノ審査ヲ拒ムコトヲ得ス

第七十九條 審査ハ類審査會議、部審査會議及高等審査會議ニ於テ之ヲ行フ

第八十條 審査會議ノ組織其ノ他審査ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第八十一條 參同國ノ事務局又ハ出品人總代ハ別ニ定ムル所ニ依リ審査員ヲ選定シ事務局ニ通知

スヘシ

第八十二條 審査用トシテ差出シ又ハ差出サシメタル物品ヲ消耗又ハ毀損スルモ出品人ハ之ニ對シ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス  
第八十三條 褒賞ハ左ノ五種トス  
大賞牌  
金牌  
銀牌  
銅牌  
褒狀

前項ノ各賞牌ニハ證狀ヲ添附ス

第八十四條 同一ノ出品人ニシテ同一部ニ於テ數箇ノ褒賞ヲ受クヘキモノアルトキハ賞牌ハ最高等ノモノ一箇ヲ授與シ其ノ他ニ對シテハ證狀ノミヲ授與ス

第八十五條 出品ノ採取、產出、加工、製作又ハ製造ニ付其ノ技工、設計又ハ考案ニ協力シタル者ニ對シ前二條ニ準シ褒賞ヲ授與スルコトアルヘシ  
第八十六條 特ニ優秀ノ陳列裝飾ヲ爲シタル出品人ニ對シ第八十三條ノ金牌、銀牌又ハ銅牌ヲ授與ス

第八十七條 審査又ハ褒賞ニ關シテハ異議ノ申立ヲ爲シ又ハ褒賞ノ授與ヲ拒ムコトヲ得ス  
○農商務省告示第百六十號

日本大博覽會出品部類目錄左ノ通相定ム

明治四十一年六月二十七日

農商務大臣 松岡康毅

日本大博覽會出品部類目錄

第一部 教育	第一類 教育ノ組織 學校系統、學校配置、教育基金、學校經理統計等	第五類 實業教育 制度、統計、教授及訓練ノ方法及成績、研究ノ成績、巡回授業、校舍及實習場ノ圖面、模型、特殊ノ教具及教授用具、教育ノ順序方法ヲ示スヘキ成績品
第二部 學藝	第二類 初等教育 一 幼稚園 二 初等普通教育 三 初等補習教育及壯丁初等補習教育 四 保姆及教員ノ養成及免許	第六類 特殊教育 制度、統計、教育ノ方法及成績、校舍ノ圖面、模型、特殊ノ教具及教授用具、教育ノ順序方法ヲ示スヘキ成績品
第三部 美術	第三類 中等教育 制度、統計、教授及訓練ノ方法及成績、校舍ノ圖面、模型、教具、教授用具、圖畫、手工及技藝教育ノ順序方法ヲ示スヘキ成績品	第七類 學校衛生及體育 一 學校衛生 學校衛生、學校醫及身體檢查ニ關スル制度、統計及成績
第四部 美術工藝	第四類 大學及專門教育 制度、統計、教授及訓練ノ方法及成績、研究ノ成績、校舍ノ圖面、模型	二 體育及運動遊戲 體育ニ關スル制度、統計及成績、教育ノ方法、體操室及各種運動場ノ圖面、模型、器械用具
第五部 農業	一 高等普通教育 二 中等補習教育 三 教員ノ養成及免許	
第六部 園藝	二 大學及其各分科 一 文學、理學、法學、醫學、美術、音樂等ノ各專門教育	
第七部 畜產		
第八部 蠶絲業		
第九部 林業及狩獵		
第十部 水產		
第十一部 飲食品		
第十二部 採鑛及冶金		
第十三部 化學工業		
第十四部 染織工業		
第十五部 製作工業		
第十六部 建築及室內裝飾		
第十七部 機械及船舶		
第十八部 電氣		
第十九部 土木及通運		
第二十部 經濟及衛生		
第二一部 陸海軍		

<p>第八類 校舍、校具、教授用具及用品</p> <p>一 校舍ノ四面模型、校具</p> <p>二 初等及中等程度ノ教育ニ於ケル 諸學科教授用ノ器械、器具、標本、圖書、寫真、映畫、模型等、用品</p> <p>第九類 教育的及學術的製造物及團體</p> <p>一 圖書館</p> <p>二 博物館、美術館</p> <p>三 動物園、植物園</p> <p>四 教育及學術ニ關スル協會</p> <p>五 學士院、學會、教育會等</p> <p>六 育英、獎學</p> <p>第十類 學藝</p> <p>一 數學ニ關スルモノ</p> <p>二 天文学、測地學及測量學ニ關スルモノ</p> <p>三 製圖器械、器具及用品</p> <p>四 地圖、星圖、地球儀、天球儀等</p> <p>第十一類 物理學器械、器具、標本、圖書、模型等</p>	<p>一 力学及物質學ニ關スルモノ</p> <p>力ノ合成ヲ示ス器械及裝置、ダイヤロスタット、振子、彈性ヲ示ス器械、測流器、比重計、氣壓計、空氣ポンプ等</p> <p>二 音學ニ關スルモノ</p> <p>音叉、サイレン、共鳴器等</p> <p>三 光學ニ關スルモノ</p> <p>光度計、反射鏡、レンズ、平面ガラス、プリズム、光學用ガラス、顯微鏡、望遠鏡、ゴニオメーター、分光鏡、グレイチング、偏光鏡、檢糖器、幻燈等</p> <p>四 熱學ニ關スルモノ</p> <p>學術用寒暖計、熱電氣寒暖計、光學高熱計、膨脹計、熱量計等、溫器等</p> <p>五 電氣學及磁氣學ニ關スルモノ</p> <p>電氣計、電流計、電位計、エレクトロデナモーター、電解器、標準電池、抵抗器、抵抗測定器、磁方計、羅針盤、真空放電管、靜電氣發電器、蓄電器、感應コイル等</p> <p>第十二類 化學器械、器具、標本、圖書、模型等</p> <p>一 實驗化學ニ關スルモノ</p> <p>蒸溜器、真空鍋、冷却器、脫水器、壓濾器、吸氣器、瓦斯發生器、抽出器、熱用ランプ等、其他特殊ノ實驗用器械</p> <p>二 分析化學ニ關スルモノ</p> <p>ビレット、ビニレット、リターター、スコ、加里球、瓦斯分析器、炭酸定置器、空氣測定器、白金坩堝、燃燒瓶等</p>	<p>第十三類 氣象學及地震學器械、器具、圖書、模型等</p> <p>氣象用寒暖計、晴雨計、濕度計、雨量計、風力計、自記氣象器、空中電氣測定器、自記磁方計、地震計、微動計等</p> <p>第十四類 博物學及地文學器械、器具、標本、圖書、模型等</p> <p>一 人類學及考古學ニ關スルモノ</p> <p>二 動物學ニ關スルモノ</p> <p>三 植物學ニ關スルモノ</p> <p>四 地文學、地質學、古生物學、礦物學及結晶學ニ關スルモノ</p> <p>第十五類 醫學器械、器具、標本、圖書、模型、用品等</p> <p>一 解剖學、組織學、生理學、病理學、藥物學、衛生學、細菌學等ニ關スルモノ</p> <p>二 內科學、外科學、眼科學、耳鼻喉科學、婦人科及產科學、小兒科學等ニ關スルモノ</p> <p>三 診療器械、器具及裝置、補形矯正器械、同生救護器械、檢溫器、醫藥用反射鏡、眼鏡、醫藥用電氣器、X放散線裝置等</p> <p>四 齒科學ニ關スルモノ</p> <p>齒科用旋盤、齒科用椅子、滾和罐、充填材料等、義齒</p> <p>第十六類 藥學及調劑學器械、器具、標本、藥品等</p> <p>一 藥學及調劑學ニ關スルモノ</p> <p>二 醫用藥品(藥劑)</p> <p>生藥、化學製藥品、藥局製劑品、礦泉、血清藥、其他ノ傳染病預防及治療液等</p>
---	---	--

<p>第十七類 度量衡</p> <p>一 度量器</p> <p>物差、卷尺、カタメートル等</p> <p>二 量器</p> <p>秤、目盛筒等</p> <p>三 衡器</p> <p>天秤、秤秤、秤秤等、分銅</p> <p>四 比較器、目盛器械、分角器械等</p> <p>第十八類 印刷</p> <p>一 木版、金屬版、石版、寫真版、電氣版等</p> <p>二 複寫版、印字器等</p> <p>三 活字、活版、字母</p> <p>四 印刷物及印刷物圖案</p> <p>五 紙幣、印紙、證券等ノ印刷ニ關スル特殊ノ裝置</p> <p>六 製版及印刷ニ關スル方法或器械、器具</p> <p>第十九類 書籍及製本</p> <p>一 特殊ノ文庫ヲ作成スル書籍ノ蒐集</p> <p>二 新ニ翻刻シタル舊刊書籍</p> <p>三 製本及裝釘圖案</p> <p>四 製本ニ關スル裝置器械、器具</p> <p>第二十類 寫真</p> <p>一 各種寫真及其應用</p> <p>二 種板、フキルム、印紙紙等、特殊ノ藥品其他ノ用品</p> <p>三 寫真レンズ、カメラ其他ノ器械及器具</p> <p>四 寫真室ノ設備</p> <p>第二十一類 樂器</p>	<p>一 絃樂器</p> <p>二 鍵盤樂器</p> <p>三 吹樂器</p> <p>四 擊樂器</p> <p>五 オルゴール、ピアノ、蓄音器等</p> <p>六 樂器部分品並用具、用品</p> <p>七 樂器製造ノ方法、特殊ノ器械及器具</p> <p>第二十二類 演藝</p> <p>一 演藝場ノ設備、舞臺用器械、器具及用品</p> <p>二 面裝束、衣裳其他ノ演藝者用具及用品</p> <p>第二十三類 美術</p> <p>一 東洋畫</p> <p>第二十四類 油繪、水彩畫、バスアル畫、木炭畫等</p> <p>第二十五類 彫塑</p> <p>第二十六類 美術建築</p> <p>第二十七類 金工品</p> <p>第二十八類 漆工品</p> <p>第二十九類 陶磁器、七寶硝子、モザイク等ノ製品</p> <p>第三十類 玉石、木、竹、象牙、介甲、革等ノ製品</p> <p>第三十一類 染織物、刺繍品等</p> <p>第三十二類 彫版寫真印刷物</p> <p>第三十三類 美術工藝圖案</p> <p>第五部 農業</p> <p>第三十四類 穀類</p>	<p>一 米</p> <p>水稻、陸稻</p> <p>二 麥</p> <p>大麥、小麥、裸麥、燕麥、ライ麥</p> <p>三 雜穀</p> <p>粟、黍、稗、玉蜀黍、蜀黍、蕎麥等</p> <p>四 豆</p> <p>大豆、小豆、豌豆、蠶豆、菜豆、落花生等</p> <p>一 精穀</p> <p>第三十五類 精穀及粉</p> <p>白米、挽麥、剥皮麥等</p> <p>二 粉</p> <p>麥粉、蕎麥粉、豆粉、澱粉、苡粉等</p> <p>第三十六類 收草</p> <p>第三十七類 植物纖維</p> <p>一 紡績及繅絲原料</p> <p>實棉、絲、大麻、亞麻、苧麻、黃麻、苧麻、櫻桐、芭蕉、鳳梨等</p> <p>二 製紙原料</p> <p>楮、三桠、雁皮、黃蜀葵等</p> <p>三 疊表、蘆、麥稈、真田及帽子ノ原料</p> <p>四 雜品</p> <p>絲瓜、醬、醋、杞柳、燈心、絲、菊、茶、チーゼル等</p> <p>第三十八類 染色原料</p> <p>一 染色原料</p> <p>葉藍、葉、藍、玉、泥、藍、玫瑰、靛、金、梔子、茜草、紅花、紫根、青茅、烏梅等</p>
--	---	--



- 二 製油原料
  - 一 菜種、胡麻、桂、棉實、亞麻仁、向日葵、麻子、オリヅ等
- 第三十九類 製糖原料、嗜好品、藥草
  - 一 製糖原料
    - 甘蔗、甜菜、蔗葉等
  - 二 煙草
    - 薄荷、麻子、芥子、罌粟子等
  - 三 香辛類
    - 薄荷、麻子、芥子、罌粟子等
  - 四 藥草
    - 人參、牡丹皮、芍藥、大黃、黃連、サフラ、除蟲菊等
- 第四十類 種苗
  - 一 人造肥料
    - アモモニア鹽類、硝酸鹽類、加里鹽類、過磷酸石灰、骨粉、骨灰、石灰、磷素等、調合肥料
  - 二 油粕
    - 米糠、農産製造ノ副産物等
  - 三 雜品
    - 米糠、農産製造ノ副産物等
  - 第四十二類 農業用器械及器具
    - 一 開墾及耕耘ニ關スルモノ
    - 二 播種及施肥ニ關スルモノ
    - 三 灌溉及排水ニ關スルモノ
    - 四 收穫、調整、貯藏及運搬ニ關スルモノ
    - 五 農産製造ニ關スルモノ
  - 第四十三類 作物ノ虫害、病害等(四ノアハカニカスルモノ)
    - 一 害虫其他ノ有害動物ノ標本、圖畫
- 二 有害寄生植物ノ標本、圖畫
  - 一 病害及害虫ノ標本、圖畫
  - 二 鳥類、昆虫等ノ標本、圖畫、其ノ害虫ノ食スルノ方法
  - 三 虫害及病害ノ預防及驅除ノ方法、器械、器具及特殊ノ藥劑
  - 四 農作物ノ栽培、收穫、貯藏、荷造等ノ方法及成績
  - 五 農産製造ノ方法及成績
  - 六 開墾、耕地整理、土地改良其他ノ農業土木ニ關スル方法及成績
  - 七 農産物ノ検査及鑑定ノ方法及成績
  - 八 農作物ノ標本、圖畫
  - 九 農事經營ノ方法及成績
  - 十 農用建造物ノ圖面、模型
  - 十一 農舍ノ事業及成績
  - 十二 農事ニ關スル特殊ノ調査及統計
  - 第十三類 園藝
    - 一 蔬菜
      - 甘藷、萵苣、アスパラガス、セリリ、蕪菁、白菜、葱、花椰菜、朝鮮蓴、符等
    - 二 根菜
      - 蘿蔔、蘿蔔、胡蘿蔔、牛蒡、甘藷、瓜、芋、里芋、薯蕷、慈姑、卷丹、蓮根、慈頭、菊、等
- 三 蔬菜
  - 一 甜瓜、南瓜、西瓜、甜瓜、茄子、蕃茄等
  - 二 香辛料
    - 胡椒、薑、紫蘇等
  - 三 促成及軟化蔬菜
    - 第四十六類 果實
      - 一 仁果
        - 柑、橘、蘋果、梨、桃、檸檬、枇杷等
      - 二 核果
        - 桃、李、巴旦杏、櫻桃等
      - 三 漿果
        - 葡萄、甘蔗、鳳梨、無花果、草莓、スグリ等
      - 四 漿果
        - 葡萄、甘蔗、鳳梨、無花果、草莓、スグリ等
      - 五 促成及鉢植ノ果樹及果實
        - 桃、葡萄等
      - 六 整枝果樹
        - 果實ヲ存スル樹造、カンデラー、ウル造等
    - 第四十七類 乾燥蔬菜及果實
      - 一 乾燥蔬菜
        - 切干、干瓢、蓮根、甘藷等
      - 二 乾燥果實
        - 柿、杏、無花果、葡萄等
    - 第四十八類 裝飾植物
      - 一 花弁及球根
        - 蘭、天竺牡丹、花菖蒲、牽牛花、牡丹、芍薬、百合、水仙等、蘭、葉植物
      - 二 花弁及球根

- 三 盆栽類
  - 一 盆栽、盆石、盆景、箱庭等
  - 二 插花類
    - 生花、立花、籠花、花球等
  - 三 溫室植物
    - 一 蘭、羊齒、椰子等
    - 二 種子
    - 三 苗木
    - 四 硝木
    - 五 園藝用具
      - 一 栽培用具
        - 植木鋏、嫁接刀、芝刈器、霧吹、如露採果器等
      - 二 盆器及插花用具
      - 三 蔬菜及果實ノ乾燥及貯藏用具
      - 四 雜品
        - 植木仕立鉢、植木支柱、澆水用簡繩、水苔、接線、包果用紙袋等
  - 第五十一類 園藝建造物
    - 一 植物室、促成箱、窓等
    - 二 四阿屋、庭門、袖垣、橋梁、花壇、上屋等
    - 三 燈籠、手洗鉢、庭石等
  - 第五十二類 園藝ノ方法及成績
    - 一 園圃及庭園ノ設計、圖面、模型
    - 二 蔬菜、果樹及裝飾植物ノ栽培ノ方法及成績
    - 三 蔬菜、果實及裝飾植物ノ貯藏、荷造等ノ方法及成績
    - 四 乾燥蔬菜及果實ノ製造ノ方法及成績
  - 四 種子ノ採取及貯藏、苗木ノ繁殖ノ方法及成績
    - 一 開墾開園ノ方法及成績
    - 二 園藝ニ關スル試驗ノ方法及成績
    - 三 新種育成ノ方法及成績
    - 四 園藝植物ノ標本、圖畫
    - 五 青物市場ノ設備、監督及成績
    - 六 園藝ニ關スル特殊ノ調査及統計
  - 第七部 畜産
    - 一 馬、騾、驢
    - 二 牛
    - 三 豚、羊、山羊
    - 四 鶏
    - 五 鴿、鴉、吐綫、珠、鴉等
    - 六 各種馴養動物
    - 七 犬、狢、貓、兔等
    - 八 鳴禽、彩鳥、鳩、鳩等
    - 九 蜜蜂
    - 十 鳴蟲、石蠶
    - 十一 乳製品及類似品
      - 牛、酪、乾酪、煉乳、粉乳、人造牛酪等
    - 十二 蜂蜜
    - 十三 野禽、肉類
    - 十四 臘肉、燻肉等
  - 四 羊毛、豚毛等、羽
    - 一 皮、角、骨等
    - 二 飼養及管理器具
    - 三 畜産製造用具
    - 四 畜産製造用具
    - 五 貯卵器、育雛器
    - 六 第五十八類 家畜及家禽衛生
      - 一 傳染病預防ニ關スル方法及制度
      - 二 血清、疫苗、注射液、特殊ノ藥品
      - 三 畜舎及病舎ノ衛生ニ關スル方法及成績
      - 四 獸醫學器械、器具、標本、圖畫、模型、用品
      - 五 蹄鐵、器具、標本、模型、用品
      - 六 疾病ニ罹レル家畜ノ局部ノ標本、圖畫、模型
    - 七 寄生動物及有害昆虫ノ標本、圖畫
    - 八 第五十九類 畜産業ノ方法及成績
      - 一 繁殖、飼養、管理、運送等ノ方法及成績
      - 二 畜産製造ノ方法及成績
      - 三 畜産ニ關スル試驗ノ方法及成績
      - 四 家畜及家禽ノ標本、圖畫、模型
      - 五 畜産業及牧場經營ノ方法及成績
      - 六 畜産用建造物、及畜産製造所ノ圖面、模型
      - 七 畜産市場及屠畜場ノ設備、監督及成績
      - 八 畜産ニ關スル特殊ノ調査及統計
    - 第八部 蠶絲業
      - 一 蠶種及野蠶種
      - 二 蠶繭及野蠶繭
      - 三 蠶絲、野蠶絲等

明治四十一年六月 告示 農商務省第百六十號

- 一 生絲、玉絲、天蠶絲、柞蠶絲等
- 二 抽絲
- 三 真綿
- 四 生皮、斗絲等
- 第六十三類 種苗
  - 一 桑ノ種子、桑苗、柞苗、オセゾオレンヂ苗等
  - 第六十四類 蠶絲業用器械及器具
    - 一 桑樹栽培ニ關スル特殊ノ器具
    - 接木小刀、桑摘器、桑拔器等
    - 二 養蠶ノ製造及保護ニ關スル器具
    - 桑籠、庖丁、篩、剉葉器、籠背器、蠶籠、蠶籠網、簾、製簇器、種繭攪別器、種框、蠶框、產卵蓋紙、蠶種貯藏器等
    - 三 製絲ニ關スル器械及器具
    - 殺蛹器、乾繭器、製絲器械及器具、生絲検査器械及器具、生絲整理器具等
    - 四 病蟲害、凍害等ノ預防及驅除ニ關スル器具
    - 第六十五類 蠶絲業ノ方法及成績
      - 一 桑樹栽培ニ關スル方法及成績
      - 二 養蠶ノ製造及保護ニ關スル方法及成績
      - 三 製絲ニ關スル方法及成績
      - 四 病蟲害、凍害等ノ預防及驅除ニ關スル方法及成績
      - 五 蠶絲業ニ關スル試験ノ方法及成績
      - 六 生産物ノ検査及鑑定ノ方法及成績
      - 七 桑樹蠶種、害蟲等ノ標本、圖畫模型
      - 八 蠶絲業經營ノ方法及成績

- 九 蠶絲業用建造物ノ圖面模型
- 第十部 蠶絲業ニ關スル特殊ノ調査及統計
- 第九部 林業及狩獵
- 第六十六類 造林
  - 一 種子
  - 二 苗木
  - 三 造林ノ方法及成績
  - 種子ノ採收、乾燥、播種及貯藏、苗木ノ養成、荷造等、苗圃、幼樹林、人工造林及天然造林ノ方法及成績
  - 四 漆、桐、榎、松、杉、黄楊、肉桂、鹽膚木其他ノ特殊樹栽培ノ方法及成績
  - 五 造林ニ關スル器具
  - 播種、移植、移植及撫育用特殊ノ器具
  - 第六十七類 森林保護
    - 一 有益動物ノ標本、圖畫
    - 二 有害動物及被害植物ノ標本、圖畫
    - 三 森林保護ノ方法及成績
    - 有害動物ノ豫防及驅除、有益動物ノ保護、土砂打止、森林防火、煙害豫防等
    - 四 森林保護ニ關スル器具及藥劑
    - 有害動物捕獲器、驅蟲用ノ器具及藥劑等
    - 第六十八類 木材
      - 一 用途ヲ特定セザルモノ
      - 丸木材、角材、挽材、割材等
      - 二 建築材
      - 柱、梁、椽、木桁、天井板、床廻り、根太等

- 三 土木用材
- 四 船舶、船具、車輛等ノ用材
- 五 桶、樽、包裝箱ノ用材
- 六 指物、建具、樂器、銚壺、漆器等ノ用材
- 七 蒭片材
- 八 下駄材
- 九 雜用材
- 第六十九類 竹材
  - 一 加工セザルモノ
  - 二 加工シタルモノ
  - 燒竹、箆軸等
  - 第七十類 着色材、防腐材、並着色及防腐ノ方法及成績
  - 第七十一類 伐採、運材、製材及貯材ノ方法及成績、特殊ノ器械及器具
  - 第七十二類 木竹材以外ノ林産物
    - 一 炭化製品、燃料等
    - 木炭、炭酸、木醋、醋酸石灰、木タール、檜燻灰、ニス灰、松燻、線香用木粉、蚊燻原料等
    - 二 纖維製品原料
    - 製紙原料、繩索原料等
    - 三 菌草
    - 椎茸、松茸、松露等

- 四 工業品原料
- 一 染料、原料、製油原料、粗製樟腦及樟腦油、粗製鹽、コルク材、通草、漆液、松脂、アラビヤゴム、蠟等
- 五 雜林産物
- 一 樹實、樹皮、竹皮、根莖等
- 六 製造ノ方法及成績、並器械、器具
- 第七十三類 森林施業
  - 一 測量、測樹及經理ノ方法及成績
  - 二 特殊ノ器械及器具
  - 第七十四類 森林ノ管理
    - 一 公有林ノ管理、社寺有林、模範林等ノ設定
    - 二 林業ニ關スル試験ノ方法及成績
    - 三 森林植物及林産物ノ標本、圖畫
    - 四 山林會ノ事業及成績
    - 五 林業ニ關スル特殊ノ調査及統計
  - 第七十五類 狩獵
    - 一 狩獵産物
    - 皮毛、羽、牙、骨、肉等
    - 二 狩獵ノ方法
    - 圍獵、網獵、鷹狩、鴨池、共同狩獵場、鳥獸番殖場等
    - 三 狩獵ノ器械及器具
    - 獵銃及附屬品、網、捕獲、網刺竿、鳥獸籠等
- 第十部 水産
- 第七十六類 漁業
  - 一 漁撈ノ方法及裝置、漁具、漁衣、海水鏡等

- 二 漁船、漁船用冷熱裝置、生洲
- 三 漁具、原料、漁具製造用器械及器具
- 一 網地、網絲、釣絲、塗漆料、編網器械、鉤等
- 四 餌料、其貯藏方法及器具
- 五 漁舍、網納屋、船間場、魚見其他ノ補助設備
- 六 漁場探検用器具
- 測深器、水中寒暖計、特殊比重計等
- 第七十七類 水産製造業
  - 一 乾燥、燻製及鹽藏等ノ食用魚介類
  - 乾魚類、節類、乾鮑、海參、鰻、鱈、明骨、鹽藏、鹽辛等
  - 二 水産肥料
  - 三 食用藻類
  - 石花菜、寒天、海苔、昆布、刻昆布、鹿尾菜等
  - 四 工業用及藥用水産物
  - 布糊、角叉、沃度原、藻類製沃度、海人草等
  - 五 膠、魚膠、魚油、魚蠟等
  - 六 珊瑚、海松、海柳、海綿、真珠、介殼、海酸、炭、斗、扇、蟹、海獸皮等
  - 七 乾燥、燻製及冷蔵ノ裝置、製造所ノ設備、器械、器具
  - 第七十八類 海鹽
  - 一 製鹽ノ方法及器械、器具
  - 二 鹽及副産物
  - 第七十九類 水産養殖業及養殖保護

- 一 養殖シタル魚介類
- 二 養殖場ノ設備、養殖ノ方法
- 三 養殖用餌料
- 四 害敵防禦及驅除ノ方法及器具
- 五 養殖保護ノ方法
- 第八十類 水産業ノ方法及成績
  - 一 魚介類ノ養殖、運搬及貯藏ノ方法及成績
  - 水産製品ノ荷造及検査ノ方法及成績
  - 水産ニ關スル試験ノ方法及成績
  - 水産動物ノ標本、圖畫
  - 五 漁業、水産製造業及養殖業經營ノ方法及成績
  - 六 漁港、魚揚場、魚市場等ノ設備、監督及成績
  - 七 水産會ノ事業及成績
  - 八 水産ニ關スル特殊ノ調査及統計
  - 第十一部 飲食品
  - 第八十一類 茶、咖啡等
    - 一 茶
    - 二 咖啡、ココア等
    - 三 雜品
    - 香煎、甘茶等
  - 第八十二類 酒類及其原料
    - 一 清酒
    - 二 麥酒
    - 三 葡萄酒、シヤンパン其他ノ果實酒
    - 四 味淋、白濁、リキニール其他ノ混成酒等

明治四十一年六月 告示 農商務省第百六十號

- 五 燒酎、ブランデー、ウヰスキー其他ノ蒸溜酒
- 六 麴、麥芽、糖、甘酒、濁酒等
- 第八十三類 糖水、果實糖水等
- 第八十四類 麵類及麵包
- 一 麵類
- 二 麵包及麵包種
- 三 雜品
- 第八十五類 凍豆腐、凍蒟蒻等
- 一 干菓子
- 二 菓子類
- 三 菓子種、菓子類、菓子種等
- 四 ビスケット、菓子麵包
- 五 ケーキ
- 六 ケーキ
- 七 ケーキ
- 八 砂糖液
- 九 シヤム、ゼリー等
- 第八十六類 砂糖及飴
- 一 砂糖、水飴、糖蜜
- 二 飴、澱粉糖等
- 第八十七類 調味類
- 一 醬油、溜、ソース
- 二 酢
- 三 味噌
- 四 食卓用ノ鹽及油
- 五 香料
- 胡椒、番椒、乾薑、芥子、薄荷、肉桂、姜黃等ノ製品
- 第八十八類 漬物及雜食品
- 一 醃漬、醃漬、酒糟漬、粕漬、麴漬、芥子漬、味噌漬、漬等
- 二 魚、魚、田、魚、オ、蒲、餅、和、味、付、海、苔、等
- 第八十九類 罐詰類
- 一 蔬菜、菌、果、實
- 二 鳥、獸、肉
- 三 魚、介
- 四 雜品
- 第九十類 飲食品ノ製造、調理及貯藏ノ方法、器具
- 一 製造、調理及貯藏ノ方法及成続貯藏器、器具
- 二 特殊容器及其製造器
- 三 製造場ノ設備
- 第十二部 採鑛及冶金
- 第九十一類 礦物及地質
- 一 礦物標本
- 二 地質標本
- 各種ノ岩石若クハ化石ヲ分類蒐集シタルモノ
- 三 地質調査ノ方法、及其成續ヲ示スヘキ地質圖、模型等
- 四 礦物標本及土砂類
- 第九十二類 金屬鑛業
- 一 母岩及礦物類
- 二 選鑛半製品及精製品
- 三 冶金半製品及精製品
- 四 鑛山地形圖、坑内實測圖
- 五 鑛山全般ノ設備
- 六 採鑛ノ方法及設備
- 七 製煉ノ方法及設備
- 八 伸攪ノ方法及設備
- 第九十三類 石炭鑛業
- 一 母岩及石炭
- 二 各種選炭
- 三 鑛山地形圖、坑内實測圖
- 四 採鑛ノ方法及設備
- 五 製煉ノ方法及設備
- 六 伸攪ノ方法及設備
- 九 母岩、原料及製品
- 二 地形圖

- 三 採鑛及製煉ノ方法及設備
- 第九十七類 採石業
- 一 肥料、礦物、寶石類、建築、裝飾、彫刻用
- 二 石材、壁土類、耐火土類、磨石用石砂、石膏、石灰、セメント等ノ原料、陶磁、硝子、煉瓦、瓦等ノ原料、等
- 一 原料
- 二 地形圖
- 三 採石ノ方法及設備
- 第九十八類 煉炭製造業
- 一 原料及製品
- 二 選炭及煉炭ノ方法及設備
- 第九十九類 煤炭製造業
- 一 原料、製品及副生物
- 二 洗炭ノ方法及設備
- 三 煤炭製造ノ方法及設備
- 第一百類 製造冶金業
- 一 合金製造ノ原料及製品
- 二 金屬ノ板、線、棒、管製造ノ原料及製品
- 三 金屬ノ箔、粉、泥製造ノ原料及製品
- 四 製造ノ方法及設備
- 第一百一類 鑛業用器械及器具
- 一 探鑛用器械及器具
- 二 探鑛、採鑛、運鑛、排水、通氣、照明、選鑛、救急及變災豫防等ニ用ルモノ
- 二 鑛業用導火線
- 三 冶金用器械及器具
- 乾式、濕式等ノ製煉ニ用ルモノ
- 第一百二類 鑛業ニ關スル特殊ノ調査及統計
- 第十三部 化學工業
- 第一百三類 化學製品
- 一 一般化學製品
- 二 液化瓦斯
- 三 精製糖類及樟腦油
- 四 セルロイド、コロヂオン、ワックス、コース等
- 五 脂肪油及蠟類、脂肪酸、グリセリン
- 六 膠、ゼラチン
- 七 蠟燭、石鹼
- 八 鹽類及鹽類製品
- 九 顏料及染料
- 十 製漆、ペンキ、ワニス、印肉、印刷インキ、靴、墨等
- 十一 薰香、香料、白粉、煉油、香水、香油、燭、燭、等
- 十二 火藥、炸火、煙火、マッチ等
- 第九十四類 硫酸及アルカリ製造業
- 一 製品
- 二 副生物
- 第九十五類 アルコール製造業
- 一 粗製アルコール
- 二 精製アルコール
- 第九十六類 瓦斯製造業及コールドタル蒸溜業
- 一 石炭瓦斯副生物
- 二 コールドタル蒸溜生成物
- 第九十七類 紙質及紙
- 一 種、種、木、材、等ノ紙質
- 二 和紙
- 三 洋紙
- 四 板紙及厚紙
- 五 特殊用紙
- 紙、紙、紙、羊皮紙、寫字用紙、圖引用紙、紙、工、用、紙、電、報、用、紙、包、裝、用、紙、電、信、用、紙、透、明、紙、蠟、引、紙、カ、ー、ボ、ン、紙、布、紙、タ、ー、ル、引、紙、油、紙、透、紙、吸、墨、紙、等
- 第一百八類 絲、革及皮革
- 一 絲、革、其、他ノ加工、革
- 二 皮革、其、他ノ加工、革
- 第九十九類 陶磁器
- 一 磁器
- 二 陶器
- 三 石器、土器
- 四 材料
- 五 圖案
- 第一百類 硝子及硝子器
- 一 硝子、硝子、硝子、硝子
- 二 硝子、硝子、硝子、硝子
- 三 硝子、硝子、硝子、硝子
- 四 硝子、硝子、硝子、硝子
- 五 硝子、硝子、硝子、硝子
- 六 硝子、硝子、硝子、硝子
- 七 硝子、硝子、硝子、硝子
- 第一百一類 七寶器
- 一 製、品
- 二 材、料

<p>三 圖案</p> <p>第一百十二類 磁磁器</p> <p>二 製用品</p> <p>第一百十三類 煉瓦及耐火品</p> <p>一 普通煉瓦</p> <p>二 耐火煉瓦</p> <p>三 粘土製及黑鉛製坩堝、レトルト、マッフル等</p> <p>四 モルタル、ガニスターサンド等</p> <p>五 材料</p> <p>第一百十四類 セメント、石灰及燒石膏</p> <p>一 天然及人造セメント</p> <p>二 石灰、燒石膏</p> <p>第一百十五類 化學工業ニ關スル器械及器具、統計</p> <p>一 化學製造業ニ關スルモノ</p> <p>二 窯業ニ關スルモノ</p> <p>第十四部 染織工業</p> <p>第一百十六類 絹絲、絹織物及交織物</p> <p>一 絹絲、紡績絹絲、人造絹絲、金絲、銀絲等</p> <p>二 絹織物</p> <p>三 絹絲ヲ主トスル交織物</p> <p>第一百十七類 毛絲、毛織物及交織物</p> <p>一 洗毛、屑毛、トップ、紡毛絲、梳毛絲、反毛絲等</p> <p>二 毛織物</p> <p>三 毛絲ヲ主トスル交織物</p> <p>四 フエルト</p>	<p>第一百十八類 製綿、綿絲、綿織物及交織物</p> <p>一 製綿</p> <p>二 綿絲</p> <p>三 綿織物</p> <p>四 綿絲ヲ主トスル交織物</p> <p>第一百十九類 麻絲、麻織物及交織物</p> <p>一 亞麻絲、大麻絲、黃麻絲、苧麻絲、ラミー絲等</p> <p>二 麻織物</p> <p>三 麻絲ヲ主トスル交織物</p> <p>第一百二十類 雜纖維ノ絲及織物</p> <p>一 芭蕉竹、葛、藤等ノ絲類</p> <p>二 芭蕉布、竹布、葛布、藤布等</p> <p>第一百二十一類 數物類</p> <p>一 數物原絲</p> <p>二 數物、毛氈</p> <p>三 段通、由多加織等</p> <p>第一百二十二類 染物及加工布</p> <p>一 無地染布</p> <p>二 更紗、中形其他ノ形附染布、摺箔</p> <p>三 絞染、板絞、注染布等</p> <p>四 友禪染、裾襦袢染等</p> <p>五 マーセライズ綿布、防水布、ゴム布等</p> <p>第一百二十三類 刺繡</p> <p>一 刺繡絲</p> <p>二 刺繡品</p> <p>第一百二十四類 組編物</p> <p>一 組編物絲</p>	<p>二 組物</p> <p>羽織紐、帶留、總類、モール等</p> <p>三 組物</p> <p>莫大小製ノ肌衣、ソボン下、靴下、手袋、帽子、肩掛等</p> <p>四 麥稈眞田、經木眞田等</p> <p>五 レース、ドローンウオーク、トリミング等</p> <p>第一百二十五類 被服及裁縫品</p> <p>一 和服類</p> <p>二 洋服類</p> <p>三 コート、トンビ、雨衣等</p> <p>四 シヤツ、カラ、カフス、コレット、ソボン甲、襟飾、リボン、マフ、手巾、タオル等</p> <p>五 帶類、帶揚、半襟等</p> <p>六 膝掛、肩掛、襟卷、頭巾等</p> <p>七 足袋、股引、脚絆、腹掛、腹卷等</p> <p>八 夜具、布圍、蚊帳、敷布、クッション等</p> <p>九 雜裁縫品、縫箱品</p> <p>十 縫箱、細工絲、コード等</p> <p>第一百二十六類 染織工業ニ關スル圖案、標本、紋器、器具、統計</p> <p>第一百二十七類 金屬製品</p> <p>一 花瓶、置物、火鉢、鐵瓶、茶ノ湯釜、風爐、飲食器、燈籠、佛具、鍍等</p> <p>二 徽章、賞牌、金庫、錠、蝶番、窗金具、把手、引手、釘際、針類、釘類、鎖、鎖金網等</p> <p>三 庖丁、ナイフ、剃刀、鋏等ノ刃物類</p>
--	--	--

<p>第一百二十八類 紙製品</p> <p>一 書籍用紙、狀紙、野引紙、式紙、短冊、ナブキ、立紙、水引等</p> <p>二 掛物、手帳、帳簿、書畫帖、寫真帖等ノ裝裱品</p> <p>第一百二十九類 皮革、擬革及羽毛製品</p> <p>一 靴、手袋、其他ノ皮革、擬革、染革及擬革製品</p> <p>二 刷毛、ブラシ、其他ノ羽毛製品</p> <p>第一百三十類 玉石、木、竹、牙、角、介甲、珊瑚等ノ加飾製品</p> <p>第三百一十一類 塗物類</p> <p>一 蒔繪品</p> <p>二 聚漆品</p> <p>三 ワニス其他ノ塗物</p> <p>四 塗物業地</p> <p>第三百一十二類 文房具及繪畫用具</p> <p>一 筆、墨、硯、筆筒、文鎮、印材、印判、護謄印等</p> <p>二 ペン、ペン軸、鉛筆、石筆、石盤、インキ、インキ壺、封蠟、糊類、狀紙、紙綴、紙切、文字打拔器、レタタープレス等</p> <p>三 繪具、パステル、コンテ、鉛筆、畫用木炭、繪具箱、パレット、畫架、カンバス、繪畫用紙、燒畫器、寫生用カメラ等</p> <p>第三百一十三類 裝身具、携帶品及旅行用具</p> <p>一 懷中時計、時計鎖、指環、腕環、襟止、ブローチ、ラケン、帶留、紐釦等</p> <p>二 櫛、簪、簪、髮止、髮形、元結等</p> <p>三 煙草入、卷煙草入、煙管、紙入、名刺入、信玄袋等</p> <p>四 手鏡、香水吹、楊枝、石鹼函等</p>	<p>五 帽子其他ノ冠物</p> <p>六 下駄、草鞋其他ノ履物</p> <p>七 洋傘、杖、傘骨、柄等</p> <p>八 行李、トランク、鞆、携帶化粧具、行厨、天幕、露營用具等</p> <p>第三百一十四類 扇、團扇、提灯、傘等</p> <p>第三百一十五類 武器及武裝用具</p> <p>一 刀、劍、仕込杖其他ノ護身用携帶品等</p> <p>二 甲冑、鎧、弓筒等、武裝ノ道具</p> <p>第三百一十六類 家用用具</p> <p>一 掛時計、置時計、額、屏風、衝立、衣桁、單笥、長持、文匣、机、見立、本箱、針箱、鏡臺、火鉢、煙草盆、肥皂、枕、座蒲團、籠等</p> <p>二 ランプ(電燈)、笠、口金、行燈、燭臺等</p> <p>三 磨爐、燗爐、銅壺、鍋、釜等</p> <p>四 皿、柄杓、篩、鉢、切、蠟燭、冷燗函、其他厨府用雜品</p> <p>五 風呂、金盥、バケツ、洗濯用具、掃除用具等</p> <p>第三百一十七類 營業用具</p> <p>一 算盤、計算器、録時器、現金記錄器、現金轉送器、簿類整理函等</p> <p>二 自動販賣器、商品陳列用具等</p> <p>第三百一十八類 玩具及遊戯具</p> <p>一 人形、假面、紙風車、羽子板、繪紙、骨牌等</p> <p>二 幻燈及映畫機、樂器、教育的玩具、機械的玩具等</p> <p>三 琴、將棋、室内銃、楊弓、ピンポン等</p>	<p>第一百二十九類 祝典具及雜祭具</p> <p>一 神棚、佛壇、位牌、祝祭用具、雜具、石碑等</p> <p>二 籠及雜道具、五月糺等</p> <p>第一百四十類 雜工作品</p> <p>一 造花、押繪其他ノ細工物</p> <p>二 竹細工、籠細工、經木細工、麥稈細工等</p> <p>三 雜品</p> <p>第四百一十一類 製作工業品圖案及原型、工匠用手工具等</p> <p>第十六部 建築及室内裝飾</p> <p>第四百一十二類 建築物及其局部ノ設計、圖面、模型</p> <p>一 公共建築物</p> <p>二 社寺、官衙、學校、博物館、病院、市場等</p> <p>三 劇場、其他ノ興行物ニ關スル建築物</p> <p>四 商店</p> <p>五 倉庫</p> <p>六 住宅、茶室等</p> <p>第四百一十三類 耐震及防火ニ關スル装置及特殊ノ材料</p> <p>一 鐵骨、鐵筋コンクリート、木骨等ノ耐震建築物、木造、石造、煉瓦造等ニ於ケル耐震裝置、耐震材料</p> <p>二 各種ノ防火裝置、防火材料</p> <p>三 防火器、消火裝置</p> <p>第四百一十四類 門、塙、柵等ノ設計、圖面、模型</p>
--	---	---

- 第四百四十五類 燈花燈、器具類
  - 一 燈表、花燈、燈籠、オイルクロス、リノリウム、油燈等
- 第四百四十六類 室內裝飾ニ關スル設計、圖面、模型及材料
  - 一 暖爐前飾、欄間、牀、棚其他ノ固定裝飾
  - 二 嵌込細工、寄木細工、ウェニアリング細工ノ類
  - 三 固定裝飾ニ要スル木材、石材、人造石、石膏、漆喰、陶磁、硝子等ノ製品
- 第四百四十七類 室内用具
  - 一 シヤンデリヤ(食器棚、書棚、飾棚、飾臺、草笥、椅子、寢臺、委見等)洋式家具、玉突臺
  - 二 寢室、浴室、洗面場、便所等ニ於ケル洋式家具
  - 三 特殊ノ室内掃除用具、靴拭等
- 第四百四十八類 暖房、冷房、換氣
  - 一 蒸氣、溫水、熱氣、電氣等ノ暖房裝置並機器、器具
  - 二 石炭、石油、瓦斯等ノ各種暖爐及用具
  - 三 冷房裝置並機器、器具
  - 四 換氣裝置並機器、器具
- 第四百四十九類 給水及排水ニ關スル特殊ノ裝置
- 第四百五十類 採光、音響及避難ニ關スル特殊ノ裝置
- 第四百五十一類 建築材料
  - 一 石材、人造石、壁下地、鋼製製屑板等
- 第四百五十二類 建築用特殊ノ煉瓦、テラコッタ、瓦、敷瓦等
- 第四百五十三類 マルソイド、ラバロイド等
- 第四百五十四類 建築用特殊ノ器具
  - 一 建築用特殊ノ器具
  - 二 家屋移轉用裝置並機器、器具
- 第四百五十五類 建築用特殊ノ器具
  - 一 建築用特殊ノ器具
  - 二 建築用特殊ノ器具
  - 三 建築用特殊ノ器具
  - 四 建築用特殊ノ器具
  - 五 建築用特殊ノ器具
  - 六 建築用特殊ノ器具
  - 七 建築用特殊ノ器具
  - 八 建築用特殊ノ器具
- 第四百五十六類 建築用特殊ノ器具
- 第四百五十七類 建築用特殊ノ器具
- 第四百五十八類 建築用特殊ノ器具
- 第四百五十九類 建築用特殊ノ器具
- 第四百六十類 建築用特殊ノ器具
- 第四百六十一類 建築用特殊ノ器具
- 第四百六十二類 建築用特殊ノ器具
- 第四百六十三類 建築用特殊ノ器具
- 第四百六十四類 建築用特殊ノ器具
- 第四百六十五類 建築用特殊ノ器具
- 第四百六十六類 建築用特殊ノ器具
- 第四百六十七類 建築用特殊ノ器具
- 第四百六十八類 建築用特殊ノ器具
- 第四百六十九類 建築用特殊ノ器具
- 第四百七十類 建築用特殊ノ器具
- 第四百七十一類 建築用特殊ノ器具
- 第四百七十二類 建築用特殊ノ器具
- 第四百七十三類 建築用特殊ノ器具
- 第四百七十四類 建築用特殊ノ器具
- 第四百七十五類 建築用特殊ノ器具
- 第四百七十六類 建築用特殊ノ器具
- 第四百七十七類 建築用特殊ノ器具
- 第四百七十八類 建築用特殊ノ器具
- 第四百七十九類 建築用特殊ノ器具
- 第四百八十類 建築用特殊ノ器具
- 第四百八十一類 建築用特殊ノ器具
- 第四百八十二類 建築用特殊ノ器具
- 第四百八十三類 建築用特殊ノ器具
- 第四百八十四類 建築用特殊ノ器具
- 第四百八十五類 建築用特殊ノ器具
- 第四百八十六類 建築用特殊ノ器具
- 第四百八十七類 建築用特殊ノ器具
- 第四百八十八類 建築用特殊ノ器具
- 第四百八十九類 建築用特殊ノ器具
- 第四百九十類 建築用特殊ノ器具
- 第四百九十一類 建築用特殊ノ器具
- 第四百九十二類 建築用特殊ノ器具
- 第四百九十三類 建築用特殊ノ器具
- 第四百九十四類 建築用特殊ノ器具
- 第四百九十五類 建築用特殊ノ器具
- 第四百九十六類 建築用特殊ノ器具
- 第四百九十七類 建築用特殊ノ器具
- 第四百九十八類 建築用特殊ノ器具
- 第四百九十九類 建築用特殊ノ器具
- 第五百類 建築用特殊ノ器具

- 第四百六十一類 印刷機械
- 第四百六十二類 採掘及冶金用機械
- 第四百六十三類 土木及建築用機械
- 第四百六十四類 農林及水産用機械
- 第四百六十五類 雜機械
- 第四百六十六類 機械ノ災難ヲ豫防スル裝置
- 第四百六十七類 船舶
  - 一 船體
    - 客船、貨物船、曳船、帆船、端艇、舢舨、ヨット、病院船、救難船、驅鼠船、淺深船、海底電線布設船等ノ設計、圖面、模型
  - 二 造船用特殊ノ機械及工具
  - 三 船舶用機械
    - 推進器、操舵機、揚錨機、揚貨機等ノ補助機械
  - 四 船裝
    - 舵、錨、鎖索、羅針盤、船燈、信號器、錨機、滑車、通信器、特殊ノ測量器械等、救命艇、救命浮帶、救命環等、採光、探照、換氣、冷熱、防火、衛生等ノ裝置
- 第四百六十八類 工場ノ設計、圖面、模型、並其經營ノ方法及成績
- 第十八部 電氣
  - 第四百六十九類 發電、電動、變成及配電
  - 一 發電機
  - 二 電動機
  - 三 電氣變成用器械
  - 變壓器、電動發電機、變流機、變相裝置等
- 第四百七十類 配電及保安用器具
  - 一 發電所、配電所等ノ設計、圖面、模型
  - 二 白熱燈、弧光燈其他ノ電燈、並用品
  - 三 電燈ノ應用
  - 四 燈罩、船舶等ニ使用スル特殊ノ裝置、耐水燈、ヘッドライト用電燈等
  - 五 電氣鐵道
  - 六 電氣機關車、電車、特殊ノ軌道裝置、制御器等
  - 七 電信、電話、電氣信號
  - 八 電信用器械
    - 一 電信機、送信機、受信機、中繼機、無線電信機、保安器等
    - 二 電話用器械
      - 一 電話機、送話器、受話器、中繼機、交換用器械、特別通信用器械、無線電話機、保安器等
      - 二 電氣信號器
      - 三 電鈴、表示器、警報器等
    - 九 電氣鐵道
      - 一 電氣鐵道
      - 二 電氣鐵道
      - 三 電氣鐵道
      - 四 電氣鐵道
      - 五 電氣鐵道
      - 六 電氣鐵道
      - 七 電氣鐵道
      - 八 電氣鐵道
      - 九 電氣鐵道
      - 十 電氣鐵道
      - 十一 電氣鐵道
      - 十二 電氣鐵道
      - 十三 電氣鐵道
      - 十四 電氣鐵道
      - 十五 電氣鐵道
      - 十六 電氣鐵道
      - 十七 電氣鐵道
      - 十八 電氣鐵道
      - 十九 電氣鐵道
      - 二十 電氣鐵道
      - 二十一 電氣鐵道
      - 二十二 電氣鐵道
      - 二十三 電氣鐵道
      - 二十四 電氣鐵道
      - 二十五 電氣鐵道
      - 二十六 電氣鐵道
      - 二十七 電氣鐵道
      - 二十八 電氣鐵道
      - 二十九 電氣鐵道
      - 三十 電氣鐵道
      - 三十一 電氣鐵道
      - 三十二 電氣鐵道
      - 三十三 電氣鐵道
      - 三十四 電氣鐵道
      - 三十五 電氣鐵道
      - 三十六 電氣鐵道
      - 三十七 電氣鐵道
      - 三十八 電氣鐵道
      - 三十九 電氣鐵道
      - 四十 電氣鐵道
      - 四十一 電氣鐵道
      - 四十二 電氣鐵道
      - 四十三 電氣鐵道
      - 四十四 電氣鐵道
      - 四十五 電氣鐵道
      - 四十六 電氣鐵道
      - 四十七 電氣鐵道
      - 四十八 電氣鐵道
      - 四十九 電氣鐵道
      - 五十 電氣鐵道
  - 第四百七十一類 電氣鐵道
  - 第四百七十二類 電氣鐵道
  - 第四百七十三類 電氣鐵道
  - 第四百七十四類 電氣鐵道
  - 第四百七十五類 電氣鐵道
  - 第四百七十六類 電氣鐵道
  - 第四百七十七類 電氣鐵道
  - 第四百七十八類 電氣鐵道
  - 第四百七十九類 電氣鐵道
  - 第四百八十類 電氣鐵道
  - 第四百八十一類 電氣鐵道
  - 第四百八十二類 電氣鐵道
  - 第四百八十三類 電氣鐵道
  - 第四百八十四類 電氣鐵道
  - 第四百八十五類 電氣鐵道
  - 第四百八十六類 電氣鐵道
  - 第四百八十七類 電氣鐵道
  - 第四百八十八類 電氣鐵道
  - 第四百八十九類 電氣鐵道
  - 第四百九十類 電氣鐵道
  - 第四百九十一類 電氣鐵道
  - 第四百九十二類 電氣鐵道
  - 第四百九十三類 電氣鐵道
  - 第四百九十四類 電氣鐵道
  - 第四百九十五類 電氣鐵道
  - 第四百九十六類 電氣鐵道
  - 第四百九十七類 電氣鐵道
  - 第四百九十八類 電氣鐵道
  - 第四百九十九類 電氣鐵道
  - 第五百類 電氣鐵道

明治四十一年六月 告示 農商務省第六十號

- 一 線路
  - 線路、停車場、機關車等、及附屬工事ノ設計、圖面、模型、軌條、スリッパ、轉轍器、轉車臺、信號器、聯動機、其他ノ用具、用品及設備
- 二 車輛
  - 客車、貨車、郵便車等、制動機、客車燈、其他ノ用具、用品及設備
- 三 經營
  - 切符、證券類、諸表類、通票、手旗、信號燈其他ノ用具、用品及設備、經營ノ方法、及成績
- 第百八十類 水運
  - 一 航路、經營及成績
  - 二 海員、經濟事業
  - 第百八十一類 通信
    - 一 郵便及附帶事業
      - 器械、器具及用品、線路、通信地圖、經營及成績
    - 二 電信
      - 線路、經營及成績
    - 三 電話
      - 線路、經營及成績
  - 第百八十二類 運搬具及荷造
    - 一 馬車、荷車、人力車、自轉車、乳母車、驢等
    - 二 馬具其他ノ駕取具
    - 三 輕氣球、空中飛行機
    - 四 荷造
      - 材料、填充物、器械、器具、及成績
  - 第百八十三類 工用器械及器具
    - 一 起重器、浚泥器、コンクリート混合器、杭打器、碎石器、潛水函、潛水器、ローラル、掃除器等
    - 二 鋸、シヨベル其他ノ雜具
  - 第二十部 經濟及衛生
    - 第百八十四類 經濟上ノ調査
      - 一 全國又ハ一地方ニ於ケル一般ノ經濟狀態ニ關スルモノ
      - 二 全國又ハ一地方ニ於ケル農業、林業、工業、水産、採礦及冶金、内國商業、外國貿易、運輸、銀行、保險、貯金、殖民、財政等ニ關スルモノ
      - 三 一般ノ經濟狀態又ハ産業ノ進歩改良ヲ目的トスル制度方法ニ關スルモノ
    - 第百八十五類 經濟上ノ諸機關
      - 一 各種ノ會社
        - 組織、經營ノ方法、及成績
      - 二 產業組合、貯蓄組合、賴母子講等
      - 三 同業組合
      - 四 各種ノ協會及組合
    - 第百八十六類 商業
      - 一 銀行、手形交換所、與信所等
      - 二 運送業
      - 三 倉庫業
    - 第百八十七類 自治及民政
      - 一 地方團體ノ事業及成績、財政
      - 二 移住、殖民ノ經營及成績
      - 第百八十九類 教化及救濟
        - 一 慈善、感化、授産事業等ノ方法、組織及成績
          - 養育院、貧民學校、慈善病院、慈善會、慈善財團、感化院、出獄人保護等
        - 二 赤十字事業ノ編成、作業、及成績
        - 三 矯風其他ノ公益事業ノ方法、組織及成績
          - 風俗ノ改良、勸業ノ獎勵、公德ノ養成、飲酒ノ節制、動物屠使ノ防止、等ノ目的トスル協會、組合等

- 四 消防、水防、水難救濟等ノ方法、組織及成績
- 用具
- 五 警察ノ組織及成績
- 六 監獄ノ組織及成績
- 第百九十類 傳染病豫防
  - 一 傳染病豫防ニ關スル制度
    - 傳染病豫防法、海港檢疫法、清潔方法、消毒方法、汽車及船舶檢疫法、種痘規則、癩病及肺結核豫防法等
  - 二 傳染病豫防ニ關スル施設
    - 檢疫所、隔離所、消毒所、傳染病院等
  - 三 痘苗、血清藥等ノ製造及監督
  - 第百九十一類 公衆衛生
    - 一 藥物、飲食物、飲食物用器具、有害性着色料等ノ監督
    - 二 家庭、工場、道路、溝渠等ノ衛生監督
    - 三 營業所ノ衛生監督
  - 第百九十二類 病弱者救濟
    - 一 變災遭難者及病者救護
    - 二 病院、養生所、噴泉場等ノ監督
  - 第百九十三類 統計
- 農商務省告示第百六十一號
 

明治四十一年六月十九日左記專用漁業ヲ第八七八號ニ在テハ十五箇年其他ノ各號ニ在テハ二十箇年ノ期間ヲ以テ免許シ、免許漁業原簿ニ登錄セリ

明治四十一年六月二十九日
- 農商務大臣 松岡康毅
- 一 入口統計
  - 結婚、離婚、出生、死亡、移住、隱性、年齡、身分、職業、人口ノ密度、分布等ニ關スルモノ
- 二 經濟統計
  - 土地ノ使用別、各種産業ノ生産額及資本額、物價、貸金、利率、輸出入、政府財政、地方財政、運輸、銀行、保險、殖民、等ニ關スルモノ
- 三 衛生統計
  - 傳染病統計、死亡病類別統計、噴泉場、養生所等ノ特殊氣象表ノ類
- 四 雜種統計
  - 第百九十四類 歷史及統計
    - 一 陸軍發達ノ歷史並戰役其他ニ關スル統計
    - 二 海軍發達ノ歷史並勢力其他ニ關スル統計
  - 第百九十五類 教育
    - 各學校教育ノ組織、教授及訓練ノ方法、及成績、校具、教授用具、成績品統計
- 第二十一部 陸海軍
  - 第百九十六類 兵器材料及器具
    - 一 陸軍ニ關スルモノ
      - 武器、彈藥、氣球、電燈、馬具、裝飾器具、造兵工藝品、通信、架橋及橋重器具、材料等
    - 二 海軍ニ關スルモノ
      - 砲、水雷、及附屬物、通信器具等
  - 第百九十七類 經理及衛生
    - 一 陸軍ニ關スルモノ
      - 衣食住、醫務及衛生材料等
    - 二 海軍ニ關スルモノ
      - 測量、製圖及製版ノ器械及器具、地形圖、築城圖、模型等
  - 第百九十九類 水路測量
    - 海圖、測量器械及器具等
  - 第二百類 艦艇
    - 艦艇、甲鐵、汽機、汽罐、及附屬物、圖面、模型







<p>漁業權者 熊本縣北郡水俣村、水俣村漁業組合</p> <p>網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>船打投網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>海鼠漁業 海鼠</p> <p>牡蠣漁業 牡蠣</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>鹿尾菜漁業 鹿尾菜</p> <p>もづく漁業 もづく</p> <p>うみさうめん漁業 うみさうめん</p> <p>あそぎ漁業 あそぎ</p> <p>免許番號 第八八八號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣北郡佐敷町ノ黒比須ヶ島以北ノ地先</p> <p>條件又ハ制 既ニ免許ヲ受ケタル鰯地曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス</p> <p>漁業權者 熊本縣北郡佐敷町佐敷村漁業組合</p> <p>石塚投網漁業 鰯、ヒメナ鱈</p> <p>免許番號 第八八九號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣北郡二見村字洲口新地西部ノ沖合</p> <p>條件又ハ制 (一)石塚設置ノ敷ハ四十一箇ヲ</p>	<p>超ニヘカラス(二)石塚周圍三間以外ニ於テ爲ス投網漁業ヲ拒ムヘカラス(三)免許ヲ受ケタル地曳網ノ使用ニ支障アル場合ニハ石塚ノ目標ヲ取除クモ之ヲ拒ムヘカラス</p> <p>漁業權者 熊本縣北郡日奈久町四百二十八番地門口巴之吉</p> <p>石塚投網漁業 鰯、ヒメナ鱈</p> <p>免許番號 第八九〇號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣北郡二見村字洲口新地北部ノ地先</p> <p>條件又ハ制 (一)石塚設置ノ敷ハ五十箇ヲ超ニヘカラス(二)石塚ノ周圍三間以外ニ於テ爲ス投網漁業ヲ拒ムヘカラス(三)免許ヲ受ケタル地曳網ノ使用ニ支障アル場合ニハ石塚ノ目標ヲ取除クモ之ヲ拒ムヘカラス</p> <p>漁業權者 熊本縣北郡日奈久町四百二十八番地門口巴之吉</p> <p>石塚投網漁業 鰯、ヒメナ鱈</p> <p>免許番號 第八九二號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡鬼池村自岳鼻以西ノ地先</p>	<p>網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>船打投網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>海鼠漁業 海鼠</p> <p>牡蠣漁業 牡蠣</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>鹿尾菜漁業 鹿尾菜</p> <p>もづく漁業 もづく</p> <p>うみさうめん漁業 うみさうめん</p> <p>あそぎ漁業 あそぎ</p> <p>免許番號 第八九三號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮田村ノ地先</p> <p>條件又ハ制 既ニ免許ヲ受ケタル鰯地曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス</p> <p>漁業權者 熊本縣天草郡宮田村宮田村漁業組合</p> <p>網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>船打投網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>海鼠漁業 海鼠</p> <p>牡蠣漁業 牡蠣</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>鹿尾菜漁業 鹿尾菜</p> <p>もづく漁業 もづく</p> <p>うみさうめん漁業 うみさうめん</p> <p>あそぎ漁業 あそぎ</p> <p>免許番號 第八九四號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮田村宮田村漁業組合</p>
--	---	---

<p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡大江村ノ地先</p> <p>條件又ハ制 (一)既ニ免許ヲ受ケタル鰯地曳網及鰯船曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス(二)既ニ免許ヲ受ケタル鮭大敷網鰯建網及鰯敷網漁業ヲ妨クヘカラス</p> <p>漁業權者 熊本縣天草郡大江村、大江村漁業組合</p> <p>玉筋魚漁業 玉筋魚</p> <p>免許番號 第八九五號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡ノ御領村島下湯島村ノ三角點(島ノ頂上)トノ見通線以內大浦村黒島ト御領、佐伊津ノ村界トノ見通線ニ至ル間ノ沖合</p> <p>漁業權者 熊本縣天草郡赤崎村、赤崎村漁業組合</p> <p>網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>江切網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>磯建網漁業 龍蝦、磯魚</p> <p>磯刺網漁業 龍蝦、磯魚</p> <p>海鼠漁業 海鼠</p> <p>鮑漁業 鮑</p> <p>海菜漁業 海菜</p> <p>石花菜漁業 石花菜</p> <p>鹿尾菜漁業 鹿尾菜</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>免許番號 第八九七號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡栖木村ノ地先</p> <p>條件又ハ制 既ニ免許ヲ受ケタル鰯地曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス</p> <p>漁業權者 熊本縣天草郡栖木村、栖木村漁業組合</p> <p>網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>江切網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>磯建網漁業 龍蝦、磯魚</p> <p>磯刺網漁業 龍蝦、磯魚</p> <p>海鼠漁業 海鼠</p> <p>鮑漁業 鮑</p> <p>海菜漁業 海菜</p> <p>石花菜漁業 石花菜</p> <p>鹿尾菜漁業 鹿尾菜</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>免許番號 第八九八號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡楠南村西部ノ地先</p> <p>漁業權者 熊本縣天草郡楠南村楠南村漁業組合</p> <p>網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>建干網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>海鼠漁業 海鼠</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第八九九號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮地村大字小宮地ノ地先</p> <p>條件又ハ制 既ニ免許ヲ受ケタル鰯地曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス</p> <p>漁業權者 熊本縣天草郡宮地村大字小宮地、宮地浦漁業組合</p> <p>網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>磯建網漁業 龍蝦、磯魚</p> <p>磯刺網漁業 龍蝦、磯魚</p> <p>海鼠漁業 海鼠</p> <p>鮑漁業 鮑</p> <p>海菜漁業 海菜</p> <p>石花菜漁業 石花菜</p> <p>鹿尾菜漁業 鹿尾菜</p> <p>和布漁業 和布</p>	<p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮津村ノ地先</p> <p>條件又ハ制 (一)既ニ免許ヲ受ケタル鰯地曳網及鰯船曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス(二)既ニ免許ヲ受ケタル鮭大敷網鰯建網及鰯敷網漁業ヲ妨クヘカラス</p> <p>漁業權者 熊本縣天草郡宮津村、宮津村漁業組合</p> <p>玉筋魚漁業 玉筋魚</p> <p>免許番號 第八九六號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮津村ノ地先</p> <p>條件又ハ制 (一)既ニ免許ヲ受ケタル鰯地曳網及鰯船曳網ノ使用ヲ妨クヘカラス(二)既ニ免許ヲ受ケタル鮭大敷網鰯建網及鰯敷網漁業ヲ妨クヘカラス</p> <p>漁業權者 熊本縣天草郡宮津村、宮津村漁業組合</p> <p>玉筋魚漁業 玉筋魚</p> <p>免許番號 第八九七號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮津村、宮津村漁業組合</p> <p>玉筋魚漁業 玉筋魚</p> <p>免許番號 第八九八號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮津村、宮津村漁業組合</p> <p>玉筋魚漁業 玉筋魚</p> <p>免許番號 第八九九號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮津村、宮津村漁業組合</p> <p>玉筋魚漁業 玉筋魚</p>	<p>網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>建干網漁業 鮭、ヒメナ鱈</p> <p>海鼠漁業 海鼠</p> <p>和布漁業 和布</p> <p>肥料漁業 肥料</p> <p>免許番號 第九〇〇號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮津村、宮津村漁業組合</p> <p>玉筋魚漁業 玉筋魚</p> <p>免許番號 第九〇一號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮津村、宮津村漁業組合</p> <p>玉筋魚漁業 玉筋魚</p> <p>免許番號 第九〇二號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮津村、宮津村漁業組合</p> <p>玉筋魚漁業 玉筋魚</p> <p>免許番號 第九〇三號</p> <p>漁場ノ位置 熊本縣天草郡宮津村、宮津村漁業組合</p> <p>玉筋魚漁業 玉筋魚</p>
--	---	--





明治四十一年六月 告示 農商務省第六十四號 第六十五號

國	郡	村	大字	字	地番	面積
信濃	西筑摩	大桑	長野	ニカミノ	三、三〇〇	七〇九歩
同	同	榎川	大	大	二、四六	四一六
同	同	同	同	同	同	三八九二〇歩
同	同	同	同	同	同	二八一九

○農商務省告示第六十四號

明治四十一年六月二十九日

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

國	郡	村	大字	字	地番	面積
安藝	安佐	狩小川	上深川	椎山村	四三三二	七〇〇
同	同	高根島	同	天神口	九八三	四九二六
同	同	引野	同	天浦	六六六	一、三五七
同	同	深安	同	山口	六六七	一、三五七
同	同	同	同	山	一、四四	一、三〇〇
同	同	同	同	山	三九〇	一、三〇〇
同	同	同	同	山	三九〇	一、四七六
同	同	同	同	山	甲四〇九	一、五七七
同	同	同	同	山	甲四四八	二、四〇二
同	同	同	同	山	四五六	二、六二
同	同	同	同	山	四六六	六五二六
同	同	同	同	山	六三四	一、六〇一
同	同	同	同	山	甲九五二、四五	一、三三
同	同	同	同	山	甲九五二、一六	一、三三
同	同	同	同	山	六四八二	七二八

○農商務省告示第六十五號

明治四十一年六月二十九日

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ所轄地方長官ニ於テ告示シタル左記ノ保安林ハ之ヲ解除セシメ

農商務大臣 松岡康毅

一四三〇

明治四十一年六月 告示 農商務省第六十六號

國	郡	村	大字	字	地番	面積
備後	深安	引野	三谷	藤右衛門平	六四二八	六三九歩
同	同	同	同	鳥	九五	一三三
同	同	同	同	元	一、四〇一	五、七二〇
同	同	同	同	同	二、四〇一	二、五二二
同	同	同	同	同	二、四二一	一、九三三
同	同	同	同	同	六四九	一、六〇三
同	同	同	同	同	六四五	一、〇四
同	同	同	同	同	六五一	八〇八

○農商務省告示第六十六號  
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス  
明治四十一年六月三十日

農商務大臣 松岡康毅

一四三一

○逓信省告示第五百八十八號

明治三十九年一 逓信省告示第四十三號ニ左ノ通告加シ本月十六日ヨリ之ヲ施行ス  
明治四十一年六月一日 逓信大臣 子爵堀田正養  
一局待拂拂出書用紙 一冊(五十枚)ニ付 金十五錢

〔參照〕

明治三十九年十一月三日逓信省告示第四十三號ハ郵便權特貯金ニ要スル拂込番及拂出書用紙價格ナリ

○逓信省告示第五百八十九號  
郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ  
明治四十一年六月二日 逓信大臣 子爵堀田正養

英貨	一パウンド	九八二〇九七	一圓二付 <sup>2/10</sup> 即チ
	一シルリング	四九二〇五	一圓二付 <sup>2/10</sup> 即チ
	一ペンニー	四九二〇五	ニ一四三八
佛貨	一フランク	三九〇九〇	一圓二付 <sup>40</sup> 即チ
米貨	一ダラー	二〇一〇一〇	四十九 <sup>40</sup> セント五〇〇
	一セント	二〇一〇一〇	一圓二付 <sup>40</sup> 即チ
獨貨	一マルク	一八〇七〇	一圓二付 <sup>40</sup> 即チ
關貨	一フロリン	八一五八〇	一圓二付 <sup>40</sup> 即チ
塊地利貨幣	一クロローネ	四一三九〇	一圓二付 <sup>40</sup> 即チ
洪島利貨幣	一コロナ	四一三九〇	一圓二付 <sup>40</sup> 即チ

*香港洋銀	一ダラー	八八八三三	一圓二付 <sup>40</sup> 即チ
	一セント	八八八	五七〇
*銀	一ダラー	八七六二五	一圓二付 <sup>40</sup> 即チ
	一セント	八七六	一四二付 <sup>40</sup> 即チ

(備考) 羅馬尼貨幣「ルー」及「パニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ\*香港爲替中劉公島及擲波ニ振宛ツルモノニハ銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振宛ツルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○逓信省告示第五百九十號  
本月六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年六月二日 逓信大臣 子爵堀田正養  
名 稱 早島郵便局 位 置 岡山縣都窪郡早島町

○逓信省告示第五百九十一號

明治三十九年六月 逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通告加シ本月六日ヨリ施行ス

明治四十一年六月二日 逓信大臣 子爵堀田正養  
加入區域外 一通話ノ電  
通話區域 電話料 一回ノ電  
電話呼出料

○逓信省告示第五百九十二號 須磨鹽屋間 金 五 錢 金 五 錢

明治四十年 九 逓信省告示第五百八十五號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル諸國等ヲ示ス表中左ノ通



○遞信省告示第五百九十七號

明治四十一年六月五日 告示 遞信省第五百九十九號 遞信省告示第一百十六號續葉書ノ包束物ヲ印刷物トシテ輸入スルヲ許シ又ハ許ササル國名表中左ノ通過加ス

- 一 關稅ヲ課シ許ス國ノ部 滿得涅各羅
- 二 關稅ヲ課セス許ス國ノ部

丁抹領 アンチーユ (但シ關稅ヲ徵收ス)

三 許ササル國ノ部大不列顛諸殖民地中 英領北ボルネオニヲ加フ

○遞信省告示第五百九十八號

本月七日ヨリ左記電信局ヲ設置シ無線電報ニ限り之ヲ取扱フ

明治四十一年六月六日 遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 加賀丸無線電信局 位 置 日本郵船株式會社所屬汽船加賀丸

○遞信省告示第五百九十九號

本月九日ヨリ左記電信局ヲ設置シ無線電報ニ限り之ヲ取扱フ

明治四十一年六月六日 遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 安藝丸無線電信局 位 置 日本郵船株式會社所屬汽船安藝丸

餘部	餘部	餘部	餘部	餘部	餘部	餘部	餘部	餘部	餘部
大阪	池田	神戶	御影	姫路	明石	大阪	池田	神戶	御影
金	金	金	金	金	金	金	金	金	金
二十	十五	十五	十五	十五	十五	二十	十五	十五	十五
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢

○遞信省告示第六百號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スベキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

遞信大臣 子爵堀田正養

英貨	佛貨	米貨	獨貨	關貨	地地利貨幣	洪島利貨幣	香港洋銀	暹羅銀
一パウンド	一フラン	一セント	一マルク	一フロリン	一クローネ	一コロナ	一ダラー	一ダラー
九八・二〇九七	三九・〇九〇	二・〇一〇一〇	四八・〇七〇	八一・五八〇	一・三三九〇	一・三三九〇	八八・〇四二	八七・三七五
一圓ニ付 2/10 即チ	一圓ニ付 二「フラン」五十五「サ	一圓ニ付 四十「セント」五〇〇	一圓ニ付 二「マルク」〇八「フェン	一圓ニ付 二「フロリン」二十二「セ	一圓ニ付 二「クローネ」四十一	一圓ニ付 二「コロナ」六〇四	一圓ニ付 一「ダラー」十三「セント」	一圓ニ付 一「ダラー」十四「セント」
							八八・〇	八七・四

(備考) 羅馬尼貨幣「ルー」及「パニ」ヲ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ。\*香港爲替中劉公島及靜波ニ振宛ツルモノニハ銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振宛ツルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○遞信省告示第六百一號

本月十六日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十一年六月九日

遞信大臣 子爵堀田正養

現名稱 細尾郵便局

改稱

清瀧郵便局

位置

栃木縣上野原郡日光町

○遞信省告示第六百二號

明治四十年九月遞信省告示第五百六十九號本邦ト國際返信切手券ヲ交換スル國名表中「在「マロック」獨逸局」次ニ「在土耳其獨逸局」ヲ、又其ノ他ノ大不列顛殖民地及所屬地「コート、ドール」ノ次ニ「ドミニック」ヲ加フ

明治四十一年六月九日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百三號

明治四十一年六月十五日ヨリ六月三十日迄遠江國舞坂ヲ船舶検査臨時執行地トシ船舶検査法ニ依リ検査ヲ受クヘキ船舶ノ検査ヲ執行ス

明治四十一年六月十日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百四號

本月十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十一年六月十日

遞信大臣 子爵堀田正養

名稱 板櫃郵便局

位置 福岡縣企救郡板櫃村

○遞信省告示第六百五號

本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年六月十日

遞信大臣 子爵堀田正養

名稱 藤澤郵便局

位置 神奈川縣高座郡藤澤町

○遞信省告示第六百六號

明治三十九年九月遞信省告示第四百十六號外國電信取扱制限表中「ハイチ」ノ項ヲ削除ス

明治四十一年六月十一日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百七號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年六月十二日

遞信大臣 子爵堀田正養

名稱 清水郵便局

位置 静岡縣安倍郡清水町

○遞信省告示第六百八號

本月十六日ヨリ左記郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十一年六月十六日ヨリ九月三十日迄トシ閉鎖期間中ノ事務ハ磯濱郵便局之ヲ承継ス

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百九號

本月十六日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

明治四十一年六月十五日

遞信大臣 子爵堀田正養

名稱 大洗郵便局

位置

茨城縣東茨城郡磯濱町(磯濱區)

等級 三等

○遞信省告示第六百十號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送

明治四十一年六月十五日

遞信大臣 子爵堀田正養

名稱 深川富岡門前郵便局

現在位置

東京市深川區深川富岡門前町

移轉位置

東京市深川區深川富岡門前町



明治四十一年六月 告示 遞信省第六百一十一號

電報ヲモ取扱フ

明治四十一年六月十五日

名 稱 位 置  
 滋川郵便局 群馬縣群馬郡滋川町  
 沼田郵便局 群馬縣利根郡沼田町

○遞信省告示第六百一十一號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十一年六月十六日

遞信大臣 子爵堀田正養

英貨	一パウンド	九兩八二〇九七	一圓二付 <sup>74</sup> 即チ
	一シルリング	四九二〇五	一圓二付 <sup>74</sup> シルリング「〇」パン
	一ペンニー	四〇九二	ニール四三八
佛貨	一フランク	二五〇九〇	一圓二付 <sup>74</sup> フランク「五十五」サ
米貨	一ダラー	二〇・一〇・一〇	一圓二付 <sup>49</sup> 即チ
	一セント	二〇・一〇	四十九「セント」五〇〇
獨貨	一マルク	一八〇七〇	一圓二付 <sup>74</sup> マルク「〇」ハ「フェン
	一フロリン	八二五八〇	一圓二付 <sup>74</sup> フロリン「二十二」セ
檳地利貨幣	一「クローネ	四一三九〇	一圓二付 <sup>74</sup> 「クローネ」四十一
洪島利貨幣	一「コロナ	四一三九〇	一圓二付 <sup>74</sup> 「ヘルレル」六〇四
十那威貨幣	一「クローネ	五八三〇〇	一圓二付 <sup>74</sup> 「クローネ」八十四「オ

一四四〇

*香港洋銀	一ダラー	八八・七九二	一圓二付 <sup>74</sup> 「ダラー」十二「セント」
	一セント	八八八	六二三
*銀	一ダラー	八七・八七五	一圓二付 <sup>74</sup> 「ダラー」十三「セント」
	一セント	八七九	七九八

(備考) 羅馬尼貨幣「ルー」及「パニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ。十那威貨幣換算割合ハ七月一日以降適用ス。\*香港爲替中劉公島及露波ニ振宛ツルモノニハ銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振宛ツルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス。

○遞信省告示第六百一十二號

明治三十六年三勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年六月十六日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百一十三號

本月二十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十一年六月十六日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百一十四號

明治二十三年ニ遞信省告示第六十四號諸外國ヘノ郵送禁制品目表中左ノ通追加ス

明治四十一年六月十六日

遞信大臣 子爵堀田正養

亞米利加合衆國及白耳義ノ項

摸造郵便切手ヲ寫出セル繪葉書等

埃及ノ項 摸造郵便切手一枚ヲ寫出セル繪葉書

一四四一

○逓信省告示第六百十五號

本年夏期中讚岐線丸龜多度津間ニ中津假停車場ヲ置キ旅客及附隨小荷物ノ取扱ヲ開始ス哩程左ノ通り

但シ假停車場ノ開閉竝ニ旅客取扱區間等ハ關係停車場ニ揭示ス

明治四十一年六月十六日

逓信大臣 子爵堀田正養

哩程

丸龜中津間 一哩七分

中津多度津間 一哩二分

○逓信省告示第六百十六號

本年以後毎年夏期中關西線富田四日市間ニ富田濱假停車場ヲ置キ旅客及附隨小荷物ノ取扱ヲ開始ス哩程左ノ通り

但シ假停車場ノ開閉竝ニ旅客取扱區間等ハ關係停車場ニ揭示ス

明治四十一年六月十六日

逓信大臣 子爵堀田正養

哩程

富田 富田濱間 ○哩八分

富田濱 四日市間 二哩六分

○逓信省告示第六百十七號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年六月十八日

逓信大臣 子爵堀田正養

名 稱 位 置  
 豐岡郵便局 兵庫縣城崎郡豐岡町  
 生野郵便局 兵庫縣朝來郡生野町

名 稱 位 置  
 北條郵便局 兵庫縣加西郡北條町

○逓信省告示第六百十八號

明治二十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通過加ス

明治四十一年六月十八日

逓信大臣 子爵堀田正養

「播磨國明石郡大久保村大字江井ヶ島」ノ項ノ次ニ

一 播磨國加西郡北條町大字北條 同栗田 同横尾 同古坂

「美作國久米郡佐良山村大字北」ノ項ノ次ニ

一 但馬國城崎郡豐岡町 八條村大字大磯 同小尾崎 新田村大字鹽津

一 但馬國朝來郡生野町大字日銀谷 同新町 同小野 同森垣 同眞弓 (字除分) 同眞弓 (字除分) 同眞弓 (字除分)

○逓信省告示第六百十九號

明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通過加ス

明治四十一年六月十八日

逓信大臣 子爵堀田正養

「大阪妹尾間」ノ次ニ

加入區域外  
 通話區域

一 通話ノ  
 電話料

一 同ノ電  
 話呼出料

「神戸妹尾間」ノ次ニ

大阪 豐岡間 金五十錢

大阪 北條間 金二十五錢

金二十錢

「明石江井ヶ島間」ノ次ニ

神戸 豐岡間 金四十錢

神戸 北條間 金二十五錢

金二十錢

「姫路江井ヶ島間」ノ次ニ

明石 豐岡間 金二十五錢

明石 北條間 金二十五錢

金十五錢

姫路 豐岡間 金二十五錢

金二十五錢

金十五錢

「早島妹尾間」ノ次ニ

姫路生野間	金二十錢	金十五錢
飾磨生野間	金二十五錢	金十五錢
豐岡生野間	金二十五錢	金十五錢

○遞信省告示第六百二十號  
本月二十一日ヨリ左記電信局ヲ設置シ無線電報ニ限り之ヲ取扱フ

明治四十一年六月十九日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百二十一號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

明治四十一年六月十九日

遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 土佐丸無線電信局 位置 日本郵船株式會社所屬汽船土佐丸  
名 稱 東京市京橋區月島西仲通三丁目 移 轉 位置 東京市京橋區月島西仲通三丁目

○遞信省告示第六百二十二號

明治四十年九月遞信省告示第五百八十五號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル諸國等ヲ示ス表第二電  
信爲替ノ部中左ノ通改正ス

明治四十一年六月十九日

遞信大臣 子爵堀田正養

瑞典ノ項中電信爲替取扱局ノ欄内現記事ヲ「十附註ニ掲クル郵便局ニ限り取扱フ」ニ改メ  
附註ノ項埃及ニ於ケル電信爲替取扱局名ノ次ニ左ノ通追加ス

十瑞典ニ於ケル外國電信爲替取扱局名

アルファベータ (Alfvesta)	フンメルシュタット (Falköping)	ヒョー (Hjo)	カウラ (Krylbo)
アリンゲン (Alingsås)	ファンデルランテン (Falköping-Ranten)	ブダベリ (Hudiksvall)	クムラ (Kumla)
アムネビ (Arboga)	ファルン (Falun)	ハルナッパ (Hultafred)	クンガブ (Köping)
アスカン (Aska)	フィリップスタッド (Filipstad)	ヘヴェランダ (Hvetlanda)	ラホリ (Laholm)
アスカンズ (Askersund)	フィンズポン (Finspong)	ヒョグビー (Högby)	ランドグー (Landskydd)
バック (Backe)	フロエン (Flen)	ヘーグ (Högby)	ランドスクロナ (Landskrona)
ベングツフォス (Bengtsfors)	フーリ (Furi)	ヘーグ (Högby)	レクスナ (Lekså)
ボデン (Boden)	ガンムレブ (Gammelby)	トングピング (Tönköping)	レクスナ (Lekså)
ボリニス (Bolinäs)	ガッレ (Galle)	トーン (Törn)	リッダグピング (Lidköping)
ボルホルム (Borgholm)	ゲリヤレ (Gellivare)	カラルム (Karlarn)	リッダグピング (Lidköping)
ボリッゲ (Borlänge)	ギルヴェド (Gislaved)	カールスボ (Karlsborg)	リッダグピング (Lidköping)
ボリス (Boris)	グニスタ (Gnesta)	カールスランド (Karlskrona)	リンデスベ (Lindesberg)
バスタド (Bästad)	グリュッテ- レド (Gryllytte- led)	カールスランド (Karlskrona)	リンケピング (Linköping)
チャロット- テンベルグ (Charlot- tenberg)	グリンゲス- ベルグ (Gränges- berg)	カールスランド (Karlskrona)	リッダグピング (Lidköping)
ジムブリス- ハンム (Jimbris- hamn)	グーシュ (Göschborg)	キル (Kil)	リッダグピング (Lidköping)
デゲルフォス (Degerfors)	ハリスベルグ (Hallsberg)	キル (Kil)	リッダグピング (Lidköping)
ディンホルム (Djursholm)	ハルナッパ (Hultafred)	キル (Kil)	リッダグピング (Lidköping)
エキス (Ekstis)	ヘムスタッド (Halmstad)	キル (Kil)	リッダグピング (Lidköping)
エリムテ (Elmhult)	ヘンゲ (Hengarna)	キル (Kil)	リッダグピング (Lidköping)
エンゲルホルム (Engelholm)	ヘデモナ (Hedemora)	キル (Kil)	リッダグピング (Lidköping)
エンクピング (Enköping)	ヘーリング- ボ (Helsing- borg)	クリッパン (Klippan)	マリェフェド (Mariefred)
エクリスタム (Eskilstuna)	ヘーリグ (Herrig)	クリッパン (Klippan)	マリェランド (Mariestad)
エスト (Estis)	ヘーリグ (Herrig)	クリッパン (Klippan)	マルケリッ (Markaryd)
ファルケン- ベルグ (Falken- berg)	ヘーリグ (Herrig)	クリッパン (Klippan)	マルシュトランド (Marstrand)

明治四十一年六月 彙示 遞信省第六百二十二號



LFMV	LFMT	LFMS	LFMR	LFMQ	LFMP	LFMN	LBTK	LBTT	LBTH	LFKN	LFKM	LFKH	LFKJ	LFKH	LFKG	LFKN	LFCK	LFCKM
一一一五	一一一四	一一一三	一一一二	一一一一	一一一〇九	一一一〇八	一一一〇七	一一一〇六	一一一〇五	一一一〇七	一一一〇七	一一一〇七	一一一〇七	一一一〇七	一一一〇七	一一一〇七	一一一〇四	一一一〇三
汽	汽	汽	汽	汽	帆	汽	帆	帆	汽	汽	帆	帆	帆	汽	汽	帆	帆	帆
萊	第壹若狹丸	第五日高丸	明治丸	金子丸	天神丸	撫順丸	天神丸	一良丸	第七寶安丸	津輕丸	虎吉丸	壽寶丸	飛鳥丸	綾瀨丸	若宮丸	靜吉丸	相模國真鶴村	
山丸	大阪	大阪	大阪	大阪	越前國敦賀町	大阪	大阪	大阪	大阪	東京	伊豆國網代村	東京	東京	東京	東京	東京	東京	青木芳藏
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	佐藤金治郎	大阪	大阪	小原一良	前田卯之助	遷信省	山田國作	池川力太郎	東京市	東京市	東京市	齊田綱吉	書木芳藏	
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
三原	若狹五斯船會社	龍田利一	長谷川銚五郎	中村丑太郎	佐藤金治郎	大阪商船株式會社	井沼養右衛門	小原一良	前田卯之助	遷信省	山田國作	池川力太郎	東京市	東京市	東京市	齊田綱吉	書木芳藏	
金三郎																		

LCNH	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LFGR	LCMJ
一一一七二	一一二〇五	一一二〇七	一一二〇八	一一二〇九	一一二二二	一一二二三	一一二三四	一一二三五	一一二三六	一一二三七	一一二三八	一一二三九	一一二四〇	一一二四一	一一二四五	一一二六六	一一二六六	一一二六六	一一二六六
帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆
幸	住	金比羅	住	春日	加德	龜寶	富喜	幸進	第三壽德	第一開運	第一天神	幸壽	第壹號桑名	住寶	九重	寶榮	福	福	
丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸
松江市	安藝國佐江崎村	安藝國大崎中野村	安藝國東野村	安藝國上蒲刈島村	周防國小松志佐村	伊豫國長濱町	伊豫國川之石村	周防國油田村	伊豫國磯津村	伊豫國西中島村	伊豫國宇和島町	伊豫國龜山村	伊豫國西中島村	伊豫國西中島村	伊豫國柳生村	筑後國大牟田町	肥後國御領村	谷野次郎松	
市	村	村	村	村	村	町	村	村	村	村	町	村	村	村	町	町	村	松江市	
谷野	中森伊右衛門	岡田磯吉	長尾里平	宮脇關松	加藤新吉	曾根多耶吉	藤井重次郎	中本菊右衛門	二宮廣	木倉吉之助	小仁庄吉	矢野豐助	富山友藏	戎鉄之丞	竹重清一	小浦順五郎	谷野次郎松	谷野次郎松	
次郎	右衛門	磯吉	里平	關松	新吉	耶吉	重次郎	菊右衛門	宮廣	吉之助	庄吉	豐助	友藏	鉄之丞	清一	順五郎	次郎松	次郎松	

L C M K	一一二六七	帆	盛	運	丸	肥前國口之津村	本田彌太郎
L G K T	一一二六八	帆	三	神	丸	肥後國宮津村	元田鐵太郎
L G K V	一一二六九	帆	住	密	丸	肥後國姫戸村	村枝喜太郎
L F S R	一一三一四	帆	寶	榮	丸	長門國彦島村	田川龜吉
L F S T	一一三二二	帆	第貳號	新榮丸	丸	長門國彦島村	大之木幾松
L F S V	一一三二七	帆	住	吉	丸	長門國須佐村	小西新太郎
L F S W	一一三三一	帆	藤	山	丸	筑前國若松町	山口恒太郎
L F T B	一一三三四	汽	ス	タン	ダ	下	清岡邦之助
L F C P	一一四一一	帆	第參拾壹號	開盛丸	丸	横	村山拾吉
L F C Q	一一四一二	帆	廿二號	つま丸	丸	横	宇都宮桂吉郎
L F C R	一一四一三	帆	廿三號	つま丸	丸	横	宇都宮桂吉郎

○遞信省告示第六百二十四號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年六月二十日

遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 岡谷郵便局 長野縣諏訪郡平野村  
上諏訪郵便局 長野縣諏訪郡上諏訪町

名 稱 下諏訪郵便局 長野縣諏訪郡下諏訪町

○遞信省告示第六百二十五號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十八年四月遞信省令第三

十四號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十一年六月二十日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百二十六號

明治三十七年六月遞信省告示第三百七十七號外國電報料金表第二表韓國地方ノ部中「金城」ノ項ノ次ニ左ノ通追加シ來七月一日ヨリ施行ス

明治四十一年六月二十二日

遞信大臣 子爵堀田正養

金 化

○遞信省告示第六百二十七號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

遞信大臣 子爵堀田正養

英 貨	一パウンド	九四八二〇九七	一圓二付 <sup>6</sup> / <sub>10</sub> 即チ
	一シルリング	四九〇〇五	一圓二付 <sup>2</sup> / <sub>10</sub> 即チ
	一ペンニー	四九二	ニ一四三八
佛 貨	一フランク	三九〇九〇	一圓二付 <sup>2</sup> / <sub>10</sub> 即チ
米 貨	一ダラー	二〇一〇一〇	一圓二付 <sup>49</sup> / <sub>100</sub> 即チ
	一セント	二〇一〇	四十九 <sup>49</sup> / <sub>100</sub> セント五〇〇
獨 貨	一マルク	一八〇七〇	一圓二付 <sup>11</sup> / <sub>100</sub> 即チ
関 貨	一フロリン	八二五八〇	一圓二付 <sup>11</sup> / <sub>100</sub> 即チ

埃地利 貨幣	一 クロリーネ	四一三九〇	一圓ニ付「クローネ」四十一
洪島利 貨幣	一 コロナ	一三三〇〇	一圓ニ付「クローネ」六〇四
那威貨幣	一 クロリーネ	五三三〇〇	一圓ニ付「クローネ」八十四「オ
瑞典貨幣	一 クロリーネ	九〇二〇八	一圓ニ付「クローネ」六二
香港洋銀	一 セント	九〇二	一圓ニ付「ダラー」七「セント」八
銀	一 ダラー	八九・二五	一圓ニ付「ダラー」十二「セント」
一 セント	八九	八九	

(備考) 羅馬尼亞貨幣「ルー」及「バニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ。十那威瑞典貨幣換算割合ハ來七月一日以降適用ス。香港爲替中劉公島及海波ニ振宛ルモノニハ銀貨換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振宛ルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス。

○逓信省告示第六百二十八號

明治四十一年六月二十九號 逓信省告示第五百八十五號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル諸國等ヲ示ス表中左ノ逓改正シ來七月一日ヨリ施行ス

明治四十一年六月二十三日

逓信大臣 子爵堀田正養

一「第一」通常爲替「一」直接交換國「甲」羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ルモノノ「部中」瑞典ノ項ヲ左ノ逓改ム

瑞典 (Sweden) 一國內總テノ郵便「クローノル」一圓、銀「七百二十」ク「四百圓」一請求スル「コト」得「中央郵政廳」ニ於テ取扱フ「オール」  
 一「第一」通常爲替「二」直接交換國郵政廳ノ媒介ニ依リ交換スル國「甲」羅馬約定加入國郵政廳ノ媒介ニ依ルモノノ「部中」芬蘭ノ項ヲ左ノ逓改ム  
 芬蘭 (Finland) 一國內總テノ郵便「タカローノ」一圓、銀「三百六十」引去ル「ノ」ニ付「五分」ヲ得「中央郵政廳」ニ於テ取扱フ「オール」  
 一「第一」通常爲替「一」直接交換國「甲」羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ルモノノ「部中」瑞典ノ項ヲ左ノ逓改ム

一「第二」電信爲替「羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ル電信爲替直接交換國」ノ部中「瑞典」ノ項ヲ左ノ逓改ム

○逓信省告示第六百二十九號

明治四十一年六月二十九號 逓信省告示第五百八十五號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル諸國等ヲ示ス表「第二」電信爲替「部中」白耳義ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ來七月一日ヨリ丁抹ト電信爲替ヲ交換ヲ開始ス

明治四十一年六月二十三日

逓信大臣 子爵堀田正養

丁抹 (Denmark) 「アイスランド」(Iceland) 及「フェ」一國內總テノ郵便「法、山」一法、山「一千法」ニ對スル「ロー群島」(Faroe Islands) ヲ含ム「局」ニ於テ取扱フ

○逓信省告示第六百三十號

本年六月條約第二號柏林締結國際無線電信條約附屬業務規則左ノ如シ

明治四十一年六月二十三日

逓信大臣 子爵堀田正養

國際無線電信條約附屬業務規則

目次

- 第一章 無線電信局ノ組織
- 第二章 海岸局ノ執務時間
- 第三章 無線電報ノ書法及賴信
- 第四章 料金
- 第五章 料金ノ徵收
- 第六章 無線電報ノ傳送
- イ 傳送字號
- ロ 傳送順序

ハ 無線電信局ノ呼出及無線電報ノ傳送  
ニ 受信證及通信終了

ホ 無線電報ノ傳送方向

第七章 著信地ニ於ケル無線電報ノ配達

第八章 特別電報

第九章 文書保存

第十章 料金還付

第十一章 計算

第十二章 總理局

第十三章 雜則

第一章 無線電信局ノ組織

第一條

海岸局及船舶局ニ於テ使用スル無線電信ノ機器及裝置ノ選擇ハ自由トス此ノ局ノ設備ハ成ルヘク科學及技術ノ進歩ニ伴フコトヲ要ス

第二條

一般公衆通信業務ノ爲三百メートル及六百メートルノ二電波長ヲ許可ス該業務ヲ取扱フ海岸局ハ總テ此ノ二電波長ノ孰レカヲ使用ス執務時間中各局ハ其ノ電波長ヲ以テスル呼出ヲ受クヘキ状態ニ在ルコトヲ要シ且一般公衆通信業務ノ爲他ノ電波長ヲ使用スルコトヲ得ス然レトモ各政府ハ海岸局ニ於テ長距離業務ヲ又ハ一般公衆通信業務以外ノ業務ニシテ條約ノ規定ニ從ヒ設ケタルハノヲ行フ爲他ノ電波長ヲ使用スルコトヲ許可スルコトヲ得但シ此ノ電波長ハ六百メートルヲ超過セサルモノ又ハ千六百メートルヲ超過スルモノタルコトヲ要ス

第三條

船舶局ノ通常電波長ハ三百メートルトス船舶局ハ總テ此ノ電波長ヲ使用シ得ル機設備ヲ爲スコトヲ要ス此ノ局ハ六百メートルヲ超過セサルコトヲ條件トシテ他ノ電波長ヲ使用スルコトヲ得

二三三百メートルノ電波長ヲ生スヘキ裝置ヲ爲スコト物質上不能ナル小噸數ノ船舶ニ付テハ之ニ滿テサル電波長ヲ使用スルコトヲ許可スルコトヲ得

第四條

總理局ハ其ノ任務トシテ條約第一條ニ掲ケタル無線電信局ノ局名錄ヲ作成ス此ノ局名錄ニハ各局ニ付左ノ事項ヲ記載スルモノトス

第一 海岸局ニ付テハ名稱、國籍及地理上ノ位置船舶局ニ付テハ名稱、國籍、萬國信號符字及籍港名

第二 呼出符號(符號ハ互ニ異ルコトヲ要シ且各三字ノ聯集ヨリ成ルコトヲ要ス)

第三 通常通達距離

第四 無線電信ノ方式

第五 受信機ノ種類(印字機、音響機又ハ其ノ他)

第六 局ニ於テ使用スル電波長(通常電波長ニハ字下線ヲ施ス)

第七 局ニ於テ取扱フ業務ノ種類即チ

一般公衆通信  
制限的公衆通信(、、船舶トノ通信、、航路トノ通信、、式ノ機器ヲ備フル船舶トノ通信等)  
長距離公衆通信



私益通信

特別通信(官用ニ限ル通信)

其ノ他

第八 執務時間

第九 海岸料又ハ船舶料

二局名録ニハ又條約第一條ニ掲ケタル局以外ノ無線電信局ニ關スル事項ニシテ此ノ局ノ屬スル主管廳ヨリ總理局ニ通知シタルモノヲ記載スルモノトス

第五條

無用ナル符號及語辭ノ交換ハ條約第一條ニ掲ケタル局ニ於テ之ヲ禁ス試驗及練習ハ他局ノ業務ヲ妨ケサル限此ノ局ニ於テ之ヲ許スモノトス

第六條

一船舶局ハ總テ其ノ船舶ノ屬スル政府ノ許可ナク私企業者ニ於テ之ヲ設置又ハ經營スルコトヲ得ス此ノ許可ハ該政府ヨリ交付スル認許狀ヲ以テ之ヲ與フルモノトス

二許可セラレタル船舶局ハ總テ左ノ條件ヲ充スコトヲ要ス

甲 使用スル方式ハ合調式ナルコトヲ要ス

乙 送信及受信ノ速度ハ一語ヲ五字ト計算シ通常ノ事情ニ於テ一分時ニ付十二語ヲ下ラサルコトヲ要ス

丙 無線電信機ニ送電セラルル電力ハ通常ノ事情ニ於テ一「キロワット」ヲ超過セサルコトヲ要ス船舶カ最近ノ海岸局ヨリ三百「キロメートル」ヲ超過スル距離ニ於テ通信スルノ必要

ニ在ルトキ又ハ障礙ノ爲電力ノ増加ニ依ルニ非サレハ通信ヲ爲スコト能ハサルトキハ一「キロワット」ヲ超過スル電力ヲ使用スルコトヲ得

三船舶局ノ業務ハ其ノ船舶ノ屬スル政府ヨリ交付スル免狀ヲ所持スル電信技術員ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ要ス此ノ免狀ハ左ノ事項ニ關シ電信技術員ノ職務上ノ技能ヲ證明スルモノトス

甲 機器ノ調度

乙 一分時ニ付二十語ヲ下ラサル速度ニ於ケル送信及音響受信

丙 無線電信ノ交換ニ適用スヘキ規則ノ智識

四又前項ノ免狀ハ政府カ電信技術員ヲシテ通信ノ祕密ヲ守ルノ義務ニ服セシメタルコトヲ證明スルモノトス

第七條

一主管廳カ其ノ許可シタル局ノ一ニ於テ條約又ハ業務規則ノ違反アリタルコトヲ知得スルトキハ其ノ事實ヲ調査シテ責任ヲ定ムルモノトス

船舶局ニ關シ責任カ電信技術員ニ歸スルトキハ主管廳ハ必要ナル處置ヲ採リ且場合ニ依リ其ノ免狀ヲ剝奪ス違反カ機器ノ狀態又ハ電信技術員ニ與ヘラレタル訓令ニ基クコト證明セララルトキハ其ノ船舶ニ附與シタル認許狀ニ對シ同一ノ處置ヲ採ルモノトス

二同一船舶ノ責任ニ歸スル違反カ數回ニ及ビタル場合ニ於テ其ノ船舶ノ屬スル主管廳ニ他ノ主管廳ヨリ爲シタル申告カ效果ナキトキハ此ノ主管廳ハ豫告ヲ爲シタル後該船舶ヨリ發スル通信ヲ受ケサルコトヲ其ノ海岸局ニ許可スルノ權能ヲ有ス二主管廳ノ間ニ爭議ヲ生シタルトキハ關係政府ノ一方ノ請求ニ依リ問題ヲ仲裁裁判ニ附ス其ノ手續ハ條約第十八條ニ掲ケタルモノトス

第二章 海岸局ノ執務時間

第八條

一海岸局ノ執務ハ成ルヘク無休ニ晝夜間斷ナク之ヲ爲スモノトス

然レトモ或海岸局ハ制限セラレタル時間ヲ以テ執務ヲ爲スコトヲ得各主管廳ハ執務時間ヲ定ム

ルモノトス

一 海岸局ニシテ其ノ執務カ無休ニ非サルモノハ其ノ通信圈内ニ在ル船舶ニ自局ノ總テノ無線電報ヲ送リ且此ノ船舶ヨリ通知シタル總テノ無線電報ヲ受了スル前閉局スルコトヲ得ス此ノ規定ハ事務ヲ現實ニ終了スル前船舶カ其ノ存在ヲ報知スルトキモ亦之ヲ適用スヘキモノトス

第三章 無線電報ノ書法及賴信

第九條

無線電報ノ通過ノ一部カ不締約政府ニ屬スル電信線又ハ無線電信局ニ依リ取扱ハルルトキハ此ノ線又ハ此ノ局ノ屬スル主管廳カ無線電報ノ正確ナル送達ニ必要ナル條約及業務規則ノ規定ヲ場合ニ依リ適用スル旨ヲ宣言スルコト及計算ヲ確實ニスルコトヲ少クトモ條件トシテ該無線電報ヲ通過セシムルコトヲ得

第十條

一 無線電報ハ額表ニ「Radio」ナル局用記事ヲ有スルモノトス

二 船舶局ヨリ海岸局ヘノ無線電報ノ傳送ニ於テハ額表中賴信ノ日附及時刻ヲ除クモノトス

電信系上ノ再傳送ニ於テ海岸局ハ發信局名トシテ自局名次ニ船舶名ヲ記入シ且賴信時刻トシテ受信時刻ヲ記入スルモノトス

第十一條

海上船舶ニ宛ツル無線電報ノ名宛ハ成ルヘク完全ナルコトヲ要ス名宛ハ必ス左ノ如ク之ヲ記載スヘシ

- 甲 受信人名必要アラハ補足事項ヲ之ニ添フ
- 乙 局名録ニ掲載スル如キ船舶名同名ノ場合ニ於テハ國籍及必要アラハ萬國信號符字ヲ以テ之ヲ補足ス

丙 局名録ニ掲載スル如キ海岸局名

第四章 料金

第十二條

海岸料ハ一語ニ付六十「サンチム」船舶料ハ一語ニ付四十「サンチム」ヲ超過スルコトヲ得ス

十語ノ無線電報ノ海岸料又ハ船舶料ヲ超過スルコトヲ得サル料金ノ最低限ハ海岸料又ハ船舶料ニ關シ之ヲ課スルコトヲ得

第十三條

船舶局ト他國トノ間ニ於ケル無線電報ノ交換ノ媒介ヲ爲ス海岸局ノ設置シアル國ハ電報料ノ適用ニ關シ之ヲ該無線電報ノ發信國又ハ著信國ト看做シ中繼國ト看做ササルモノトス

第五章 料金ノ徵收

第十四條

無線電報ノ總料金ハ發信人ヨリ之ヲ徵收スルモノトス

船舶局ハ是カ爲必要ナル料金表ヲ備フルコトヲ要ス然レトモ船舶局ハ總テノ必要ナル資料ヲ有セサル無線電報ノ課金ニ關シ海岸局ニ承合スルノ權能ヲ有スルモノトス

第六章 無線電報ノ傳送

イ 傳送字號

第十五條

使用スル字號ハ國際「モールス」字號トス

第十六條

遭難船舶ハ左ノ符號ヲ使用シ短少ナル間隔ヲ以テ之ヲ反覆スルモノトス

局カ遭難ノ符號ヲ認ムルトキハ直ニ總テノ通信ヲ中止スルコトヲ要シ且求助ノ呼出ニ基ク通信ノ終了シタルコトヲ確メタル後ニ非サレハ通信ヲ再始スルコトヲ得ス

遭難船舶カ其ノ求助ノ呼出ノ連續ノ終ニ指定スル局ノ呼出符號ヲ加フル場合ニ於テハ此ノ指定局ニ非サレハ其ノ呼出ニ應答スヘカラス求助ノ呼出中ニ指定局名ヲ缺クトキハ此ノ呼出ヲ認ムル局ハ各之ニ應答スルコトヲ要ス

第十七條

一呼出符號ニシテ其ノ次ニ「P」「R」「B」ナル文字ヲ伴フモノハ呼出ヲ爲ス船舶又ハ局カ萬國船舶信號書ニ依リ被呼局ト通信セムト欲スルコトヲ意味スルモノトス  
「P」「R」「B」ナル文字ノ結合ハ前項ニ掲ケタル目的以外ニ局用記事トシテ之ヲ使用スルコトヲ禁スルモノトス

二無線電報ハ萬國船舶信號書ニ依リ之ヲ記載スルコトヲ得

他所ニ傳送スル爲無線電信局ニ宛ツル無線電報ハ此ノ局ニ於テ之ヲ翻譯セサルモノトス

第十八條

一 局ノ間ニ於テ同位ノ無線電報ハ海岸局ノ指定ニ從ヒ一通ツツ交番ニ又ハ敷通ヲ連續シテ之ヲ傳送ス但シ各連續ノ傳送時間ハ二十分時ヲ超過セサルモノトス

ハ 無線電信局ノ呼出及無線電報ノ傳送

第十九條

一 通則トシテ船舶局ヨリ海岸局ヲ呼出スモノトス

二 通則トシテ呼出ハ船舶カ海岸局ヨリ此ノ局ノ通常通達距離ノ百分ノ七十五ニ滿タサル距離ニ在ルトキニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

三 船舶局ハ呼出ヲ爲ス前其ノ受信機ヲ最高感度ニ調整シ且其ノ呼出サムト欲スル海岸局カ通信中ナラサルコトヲ確ムルコトヲ要ス船舶局ハ其ノ通信中ナルコトヲ認ムルトキハ最初ノ中止ヲ待ツモノトス

四 船舶局ハ呼出ノ爲ニ海岸局ノ通常電波ヲ使用スルモノトス

五 此ノ用意ニ拘ラス公衆無線電信ノ交換カ妨ケラルルトキハ呼出ハ公衆通信ヲ取扱フ海岸局ノ最初ノ請求ニ依リ之ヲ停止スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ海岸局ハ概定ノ可待時間ヲ指示スルコトヲ要ス

第二十條

一 呼出ハ「— — —」ナル符號三回反覆スル被呼局ノ符號「C」ナル語辭次ニ三回反覆スル送信局ノ符號ヲ以テ之ヲ爲スモノトス

二 被呼局ハ「— — —」ナル符號次ニ三回反覆スル對手局ノ符號「de」ナル語辭、自局ノ符號及「— — —」ナル符號ヲ以テ應答スルモノトス

第二十一條

二分時ノ間隔ヲ以テ三回反覆スル呼出(第二十條)ノ終ニ被呼局カ應答セサルトキハ呼出ハ三十分時ノ間隔ノ後ニ非サレハ再ヒ之ヲ爲スコトヲ得ス此ノ場合ニ於テ呼出ヲ爲ス局ハ先無線電信ノ傳送中ナラサルコトヲ確ムルモノトス

第二十二條

一 海岸局カ應答シタルトキハ船舶局ハ直ニ左ノ事項ヲ通知スルモノトス

甲 海里ヲ以テ示ス船舶ヨリ海岸局マテノ距離

乙 零乃至三百六十ノ度ヲ以テ示ス眞方位

丙 零乃至三百六十ノ度ヲ以テ示ス眞針路

丁 海里ヲ以テ示ス速力

戊 船舶局カ傳送スヘキ語辭ノ數

二 海岸局ハ船舶ニ傳送スヘキ語辭ノ數ヲ示シテ應答スルモノトス

三 海岸局カ直ニ傳送ヲ爲スコトヲ得サルトキハ概定ノ可待時間ヲ船舶局ニ通知スルモノトス

第二十三條

海岸局カ數箇ノ船舶局ヨリ發スル呼出ヲ受クルトキハ海岸局ハ船舶局カ其ノ通信ヲ交換スルコトヲ許サルヘキ順序ヲ決定スルモノトス

前項ノ順序ヲ決定スルニ付海岸局ハ總テノ關係局ヲシテ成ルヘク多數ノ無線電報ヲ交換スルコトヲ得セシムルコトノ必要ヲ專ラ主眼トスルモノトス

第二十四條

海岸局ハ通信ノ交換ヲ始ムル前傳送ヲ交番ニ爲スコトヲ要スルカ又ハ連續シテ爲スコトヲ要スルカヲ船舶局ニ通知シ(第十八條)然ル後傳送ヲ始メ又ハ——(可送)ナル符號ヲ送ルモノトス

第二十五條

無線電報ノ傳送ハ————ナル符號ヲ送リテ之ヲ始メ————ナル符號次ニ送信局ノ符號ヲ送リテ之ヲ終フルモノトス

第二十六條

傳送スヘキ無線電報カ四十ヲ超過スル語辭ヲ有スルトキハ送信局ハ約二十語ノ各連續ノ終ニ疑問點————ヲ送リテ傳送ヲ中止シ且確ニ受信セラレタル最後ノ語辭ノ反覆次ニ疑問點ヲ對手局ヨリ受ケタル後ニ非サレハ傳送ヲ再始セサルモノトス  
連續傳送ノ場合ニ於テハ各無線電報ノ終ニ受信證ヲ與フルモノトス

第二十七條

一字號カ疑ハシク成ルトキハ傳送ヲ完了スル爲出來得ル限ノ方法ヲ講スルコトヲ要ス是カ爲無線電報ハ受信局ノ請求ニ依リ之ヲ反覆ス然レトモ反覆ハ三回ヲ超過スルコトナシ此ノ三回ノ傳送ニ拘ラス字號カ尙不明瞭ナルトキハ無線電報ハ之ヲ取消ス送信局カ受信證ヲ受ケサルトキハ再

ニ對手局ヲ呼出ス三回ノ呼出ノ後應答ナキトキハ傳送ハ之ヲ繼續セサルモノトス

ニ受信局カ不完全ナル受信ニ拘ラス無線電報ヲ配達スルコトヲ得ト判斷スルトキハ額表ノ終ニ「Reception douteuse」ナル局用記事ヲ記入シテ其ノ無線電報ヲ通過セシムルモノトス

第二十八條

總テノ局ハ良好ナル通信ヲ確實ニスル爲ニ必要ナル電力ノ消耗ノ最低限ヲ以テ通信ヲ交換スルコトヲ要ス

ニ 受信證及通信終了

第二十九條

一 受信證ハ萬國電信細目規則ニ規定シタル様式ニ依リ之ヲ送り其ノ前ニ送信局ノ符號及最後ニ受信局ノ符號ヲ附スルモノトス

二 二局間ノ通信ノ終了ハ各局ヨリ————ナル符號次ニ其ノ局ノ符號ヲ送リテ之ヲ指示スルモノトス

ホ 無線電報ノ傳送方向

第三十條

一 原則トシテ船舶局ハ其ノ無線電報ヲ最近ノ海岸局ニ傳送スルモノトス

二 然レトモ船舶上ノ發信人ハ海岸局ニシテ之ニ依リ自己ノ無線電報カ傳送セラレルコトヲ欲スルモノヲ指定スルノ權利ヲ有スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ船舶局ハ該海岸局カ最近ニ在ルニ至ル迄待ツモノトス此ノ條件ヲ實行シ難キトキハ他局ノ業務ヲ妨害スルコトナク傳送ヲ爲シ得ルトキニ非サレハ發信人ノ希望ニ應セサルモノトス

第七章 著信地ニ於ケル無線電報ノ配達

第三十一條

原因ノ如何ヲ問ハス海上船舶ヨリ發スル無線電報ヲ受信人ニ配達スルコト能ハサルトキハ不能配達ノ通知ヲ發ス此ノ通知ハ出來得ヘクハ之ヲ其ノ船舶ニ傳送ス船舶局ニ著スル無線電報ヲ配達スルコト能ハサルトキハ此ノ局ハ事務報ヲ以テ之ヲ發信局ニ通知ス此ノ事務報ハ成ルヘク無線電報ヲ中繼シタル海岸局又ハ場合ニ依リ最近ノ海岸局ニ之ヲ傳送スルモノトス

第三十二條

無線電報ヲ宛ツル船舶カ發信人ノ指定スル期間内ニ又ハ斯カル指定ヲ缺ク場合ニ於テ次ノ第二十九日ノ朝迄ニ其ノ存在ヲ海岸局ニ報知セサリシトキハ此ノ海岸局ハ之ヲ發信人ニ通知スルモノトス

發信人ハ海岸局ニ宛ツル電信又ハ郵便ノ課金事務報ヲ以テ其ノ無線電報ヲ船舶ニ傳送スル爲三十日ノ新期間之レヲ保管スルコトヲ引續キ何回ニテモ請求スルノ權能ヲ有ス斯カル請求ヲ缺クトキハ第三十日(郵便ノ日ヲ包含セス)ノ終ニ於テ此ノ無線電報ヲ沒書ト爲スモノトス

然レトモ海岸局カ船舶ニ無線電報ヲ傳送スルコトヲ得ル前船舶カ其ノ通信圈ヨリ出テタルコトヲ確知スルトキハ該局ハ之ヲ發信人ニ通知スルモノトス

第八章 特別電報

第三十三條

左ノ電報ハ之ヲ許ササルモノトス

甲 返信料前納電報

乙 爲替電報

丙 照校電報

丁 受信報知電報

戊 追尾電報

己 課金事務報但シ電信系ノ線上通過ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

庚 至急電報但シ萬國電信細目規則ノ規定ノ適用ヲ留保シ電信系ノ線上通過ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

辛 別使又ハ郵便ニ依リ配達スル電報

第九章 文書保存

第三十四條

主管廳又ハ私企業者カ保管スル無線電報ノ原書及關係書類ハ祕密ヲ保護スル爲ニ必要ナル總テノ用意ヲ以テ其ノ無線電報ノ賴信ノ月ノ翌月ヨリ起算シ少クトモ十二月間之ヲ保存スルモノトス前項ノ原書及書類ハ成ルヘク少クトモ毎月一回船舶局ヨリ其ノ屬スル主管廳ニ之ヲ送付スルモノトス

第十章 料金還付

第三十五條

一 料金還付ニ關シテハ本規則第三十三條ニ掲ケタル制限ヲ斟酌シ且左ノ留保ノ下ニ萬國電信細目規則ノ規定ヲ適用スルモノトス

無線電報ノ傳送ニ費ス時間及海岸局又ハ船舶局ニ於ケル無線電報ノ挽留時間ハ料金還付ニ關ス

ル期間ニ之ヲ算入セサルモノトス  
料金還付ハ無線電報ノ送達ニ與リタル諸主管廳又ハ私企業者ニ於テ之ヲ負擔シ各主管廳ハ其ノ得分ヲ拋棄ス然レトモ聖彼得堡條約書第七條及第八條ヲ適用スヘキ無線電報ハ萬國電信細目規則ノ規定ニ從フモノトス但シ此ノ無線電報ノ受付カ業務上ノ錯誤ノ結果ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

二無線電報ノ受信證カ其ノ無線電報ヲ傳送シタル局ニ著セサル場合ニ於テハ其ノ無線電報カ料金還付ヲ生スルコト確定シタルトキニ非サレハ料金ハ之ヲ還付セサルモノトス

第十一章 計算

第三十六條

一海岸料及船舶料ハ萬國電信細目規則ニ規定シタル計算ニ之ヲ算入セサルモノトス  
前項ノ料金ニ關スル計算ハ關係政府ノ主管廳ニ於テ之ヲ精算ス計算書ハ海岸局ノ屬スル主管廳

ニ於テ之ヲ作成シ且該主管廳ヨリ關係主管廳ニ之ヲ送付スルモノトス  
二電信系ノ線上傳送ニ付テハ無線電報ハ計算上萬國電信細目規則ニ從ヒ之ヲ取扱フモノトス

三船舶ヨリ發スル無線電報ニ付テハ船舶局ノ屬スル主管廳ハ海岸局ノ屬スル主管廳ニ對シ船舶上ニ於テ徵收シタル海岸料及普通電報料ノ債務ヲ負フモノトス  
船舶ニ宛ツル無線電報ニ付テハ料金ヲ徵收シタル主管廳ハ海岸局ノ屬スル主管廳ニ對シ直接ニ

海岸料及船舶料ノ債務ヲ負フ此ノ主管廳ハ船舶ノ屬スル主管廳ニ對シ船舶料ノ債務ヲ負フモノトス  
然レトモ料金ヲ徵收シタル主管廳カ船舶局ノ屬スル主管廳ト同一ナル場合ニ於テハ船舶料ハ海岸局ノ屬スル主管廳ニ對シ債務ヲ構成セサルモノトス

四無線電報ノ特別計算ノ基礎ヲ爲スヘキ月次計算書ハ每通ノ無線電報ニ付必要ナル總テノ事項ヲ附記シテ其ノ關係スル月ヨリ六月ノ期間内ニ之ヲ作成スルモノトス

五政府ハ政府相互間及私企業者(無線電信局ヲ經營スル企業者、航海會社等)ト計算ニ關スル他ノ規定ノ採用ヲ目的トスル特別約定ヲ爲スノ權能ヲ留保スルモノトス

第十二章 總理局

第三十七條

萬國電信總理局ハ瑞西聯邦政府ノ承諾及電信聯合ノ承認ノ留保ノ下ニ條約第十三條ニ規定シタル職能ヲ委ネラルヘシ

無線電信ニ關シ萬國總理局ノ執務ニ基ク附加經費ハ國際會議ノ開會ヨリ生スル特別費用ヲ除キ毎年四萬法ヲ超過スルコトヲ得ス

前項ノ經費ハ特別計算ノ目的ヲ爲シ之ニ關シテハ萬國電信細目規則ノ規定ヲ適用ス然レトモ次回會議ノ開會ニ至ル迄ニ各締約政府ハ其ノ編入セラルルコトヲ欲スル等級ヲ總理局ニ通知スルモノトス

第三十八條

諸主管廳ハ規則第四條ニ掲ケタル局ニ關シ附録ノ雛形ニ從フ表ニシテ此ノ表ニ列舉スル事項ヲ記入シタルモノヲ總理局ニ送付ス其ノ後ノ修正及追加ハ毎月一日乃至十日ニ主管廳ヨリ之ヲ總理局ニ通知ス此ノ通知ニ依リ總理局ハ局名錄ヲ編輯シ常ニ之ヲ現行ノモノト爲ス局名錄及其ノ追加ハ之ヲ印刷シテ關係主管廳ニ配付ス局名錄及其ノ追加ハ實費ヲ以テ公衆ニモ亦之ヲ販賣スルコトヲ得

總理局ハ無線電信局ニ關スル同一ノ符號ノ採用ヲ避クルコトニ注意スルモノトス

第十三章 雜則

第三十九條

主管廳ハ海上ノ損害及災厄ニ關スル又ハ航海上一般ノ利益ニ關スル事項ニシテ海岸局カ正確ニ通知スルコトヲ得ルモノヲ該主管廳ノ是認スル海事通信社ニ通知スルコトニ便宜ヲ與フルモノトス

第四十條

條約第一條ニ掲ケタル船舶局ノ間ニ交換スル通信ハ海岸局ノ業務ヲ妨害セサル様之ヲ爲スコトヲ要ス通則トシテ海岸局ハ公衆通信ニ關シ先送權ヲ有スルコトヲ要ス

第四十一條

一關係者間ニ特別約定アラサル限本規則ノ規定ハ左ノ例外ヲ除クノ外海上ノ二船舶間ノ無線電信ノ交換ニ之ヲ準用スヘキモノトス

甲 第十四條

送信船舶ニ歸屬スヘキ船舶料ハ發信人ヨリ之ヲ徵收シ受信船舶ニ歸屬スヘキ船舶料ハ受信人ヨリ之ヲ徵收スルモノトス

乙 第十八條

傳送ノ順序ハ送受局間ノ協議ヲ以テ毎回之ヲ決定スルモノトス

丙 第三十六條

本問ノ無線電報ノ料金ハ此ノ條ニ規定シタル計算ニ之ヲ算入セス此ノ料金ハ之ヲ收納シタル主管廳ニ歸屬スルモノトス

二海上船舶間ニ交換スル無線電報ノ再傳送ハ關係者間ノ特別約定ニ從フモノトス

第四十二條

萬國電信細目規則ノ規定ハ本規則ノ規定ニ牴觸セサル限無線電信ニ之ヲ準用スヘキモノトス 伯林條約第十一條ニ從ヒ本規則ハ千九百八年七月一日ヨリ之ヲ施行スヘシ

右證據トシテ各全權委員ハ獨逸帝國政府ノ文庫ニ保管セララルヘキ本規則ノ一通ニ署名セリ其ノ謄本ハ一通ツツ各國ニ之ヲ交付スヘシ 千九百六年十一月三日伯林ニ於テ作成ス 獨逸

亞米利加合衆國

- 亞然的音
  - 埃地利
  - 洪島利
  - 白耳義
  - 伯西兒
  - 勃爾瓦利
  - 智利
- シ、ク、レ、ト、ケ、
- シ、ヤ、ー、ル、マ、ン、タ、ウ、ア、
- エ、イ、チ、エ、ヌ、マ、ン、ネ、
- シ、エ、ー、ム、ス、ア、ル、レ、ン、
- シ、ヨ、ン、ア、イ、ウ、オ、ー、タ、ー、バ、リ、
- シ、オ、ル、ミ、
- フ、リ、
- ピ、エ、ー、ル、ド、サ、ラ、イ、
- ド、ク、ト、ル、ド、ヘ、ン、ニ、エ、イ、
- ホ、ル、ロ、ス、
- エ、フ、ド、ラ、ル、シ、ユ、
- エ、ビ、ユ、エ、ル、
- セ、ザ、ル、デ、カ、ン、ボ、ス、
- イ、ヅ、ス、ト、ヤ、ノ、ヅ、イ、ッ、チ、
- シ、ム、ー、ニ、ヨ、ズ、ウ、ル、タ、ー、ド、





土耳其  
ウルゲ

ア、ハ、ミ、ルト  
ナ、シ、フ、ベ、ト  
エ、フ、ア、コ、ス、タ、ン、ゾ

、、、主管廳  
無線電信局明細表  
甲海岸局

名稱	國籍	地理	呼出	通常	無線	受信機	電波長	局ニ於	執務時間	海岸料	附屬料	附記
		位置	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	記午係其ノ附	スヲ附	附記	記
		上ノ	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	記午係其ノ附	スヲ附	附記	記
		位置	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	記午係其ノ附	スヲ附	附記	記
		位置	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	記午係其ノ附	スヲ附	附記	記
		位置	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	記午係其ノ附	スヲ附	附記	記
		位置	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	記午係其ノ附	スヲ附	附記	記
		位置	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	記午係其ノ附	スヲ附	附記	記
		位置	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	記午係其ノ附	スヲ附	附記	記
		位置	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	記午係其ノ附	スヲ附	附記	記
		位置	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	記午係其ノ附	スヲ附	附記	記

(規則第三十八條附錄)

乙船 船局

名稱	國籍	萬國	船籍	呼出	通常	無線	受信機	電波長	局ニ於	執務時間	船料	附屬料	附記
		符號	港名	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	時間務	スヲ附	附記	記
		符號	港名	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	時間務	スヲ附	附記	記
		符號	港名	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	時間務	スヲ附	附記	記
		符號	港名	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	時間務	スヲ附	附記	記
		符號	港名	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	時間務	スヲ附	附記	記
		符號	港名	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	時間務	スヲ附	附記	記
		符號	港名	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	時間務	スヲ附	附記	記
		符號	港名	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	時間務	スヲ附	附記	記
		符號	港名	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	時間務	スヲ附	附記	記
		符號	港名	符號	距離	式方	其機又ハ音機ノ他	施字下線ヲハ	ノフテ取ニ於	時間務	スヲ附	附記	記

○遞信省告示第六百三十一號  
 明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス  
 明治四十一年六月二十四日  
 名 稱 磯部郵便局  
 位置 群馬縣碓氷郡磯部村  
 遞信大臣 子爵堀田正養





○遞信省告示第六百四十一號

明治四十一年七月一日ヨリ和田山八鹿間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ如シ

明治四十一年六月二十九日

哩程

遞信大臣 子爵堀田正養

和田山養父間

三哩二分

養父八鹿間

四哩三分

○遞信省告示第六百四十二號

和田山八鹿間發著貨切扱貨物運賃ハ明治三十九年九月遞信省告示第四百號ヲ準用ス

明治四十一年六月二十九日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百四十三號

明治四十一年六月二十九日  
明治四十年三月遞信省告示第七十三號中名古屋營業事務所所管區域ノ内「名古屋中津間」ヲ「名古屋阪下間」ニ神戸營業事務所所管區域ノ内「姫路和田山間」ヲ「姫路八鹿間」ニ改メ營業開始ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年六月二十九日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百四十四號

明治四十一年六月二十九日  
明治四十年六月遞信省告示第三百八十二號中門司運輸事務所及門司保線事務所所管區域ニ「遠賀川室木間」ヲ又若松運輸事務所及若松保線事務所所管區域ニ「中間香月間」ヲ追加シ營業開始ノ日ヨリ施行ス

明治四十一年六月二十九日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第六百四十五號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十一年六月三十日

遞信大臣 子爵堀田正養

英貨	一 パウンド	九四・八二〇九七	一圓ニ付 2/10 即チ
	一 シルリング	四九・一〇五	一圓ニ付 2/10 即チ
	一 ペンニー	四・〇九二	一圓ニ付 2/10 即チ
佛貨	一 フランク	三九・〇九〇	一圓ニ付 2/10 即チ
米貨	一 セント	二〇・一〇一〇	一圓ニ付 49/100 即チ 四十九「セント」
獨貨	一 マルク	一・一〇一〇	一圓ニ付 49/100 即チ 四十九「セント」
獨貨	一 フロリン	四八・〇七〇	一圓ニ付 2/10 即チ 四十八「フレン」
獨貨	一 マルク	八一・五八〇	一圓ニ付 2/10 即チ 八十一「フレン」
埃地利貨幣	一 クロローネ	四一・三九〇	一圓ニ付 2/10 即チ 四十一「フレン」
洪島利貨幣	一 クロローネ	四一・三九〇	一圓ニ付 2/10 即チ 四十一「フレン」
瑞威貨幣	一 クロローネ	四一・三九〇	一圓ニ付 2/10 即チ 四十一「フレン」
瑞威貨幣	一 クロローネ	四一・三九〇	一圓ニ付 2/10 即チ 四十一「フレン」
* 香港洋銀	一 セント	九一・七五〇	一圓ニ付 91/100 即チ 九十一「セント」
* 墨銀	一 セント	九〇・二〇八	一圓ニ付 90/100 即チ 九十「セント」
* 墨銀	一 セント	九〇・二〇八	一圓ニ付 90/100 即チ 九十「セント」

(備考) 羅馬尼貨幣「ルー」及「パニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ「那威瑞與貨幣換算割合」ハ來七月一  
日以降之ヲ適用ス「香港爲替中劉公島及露波」ニ 振宛ルルモノニハ 墨銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振  
宛ルルモノニハ 香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○遞信省告示第六百四十六號  
來七月一日ヨリ左記電信局ヲ設置ス

明治四十一年六月三十日  
名 稱 角島無線電信局 位置 山口縣豐浦郡角島村(角島島)

○遞信省告示第六百四十七號  
本日限リ左記電信取扱所ヲ廢止ス但シ當該取扱所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記電信局之ヲ承繼ス

明治四十一年六月三十日  
名 稱 角島海軍望遠電信取扱所 位置 山口縣豐浦郡角島村 承繼局名 角島無線電信局

○遞信省告示第六百四十八號  
來七月一日ヨリ左記電信局ヲ設置シ無線電報ニ限リ之ヲ取扱フ但シ受付及配達事務ヲ取扱ハス

明治四十一年六月三十日  
名 稱 湖 柳無線電信局 位置 和歌山縣西牟婁郡湖柳村(湖柳島)

○遞信省告示第六百四十九號  
明治四十一年七月一日ヨリ遠賀川停車場ノ位置ヲ變更シ遠賀川室木間鐵道運輸ノ營業ヲ開始ス其  
哩程左ノ如シ

明治四十一年六月三十日  
遠賀川停車場位置 遠賀川 折尾驛ヨリ 二哩六分 赤間驛ヨリ 七哩四分  
遠賀川室木間 哩程 遠賀川新延間 四哩四分 新延八尋間 一哩四分 八尋室木間 一哩一分

○遞信省告示第六百五十號  
北海道後志國小樽港防波堤端へ建設セル左記ノ燈臺ハ本年七月五日以後毎夜點火ス

明治四十一年六月三十日  
小樽港燈臺  
一 構造及著色 鐵造四角形、紅色  
一 自水面高 六丈一尺 一 自基礎高 四丈三尺  
一 至燈火高 一等級及燈質 無等不動紅色  
一 明弧 全度 一 燭光數 三十二  
一 光達距離 晴天ノ夜七涅

○遞信省告示第六百五十一號  
來七月一日ヨリ左記郵便局ノ等級ヲ改定ス

明治四十一年六月三十日  
名 稱 名瀨郵便局 位置 鹿兒島縣大島郡金久村、現等級 三等 改定等級 二等

○遞信省告示第六百五十二號  
明治三十七年六月遞信省告示第三百七十七號外國電報料金表第二表韓國地方ノ部中「金城」及「輪城」ノ二  
項ハ本日限リ之ヲ削除ス  
明治四十一年六月三十日  
遞信大臣 子爵堀田正養

○統監府告示第八十二號(官報六月六日)  
韓國政府ハ明治四十一年四月十四日法律第七號ヲ以テ移民保護法中改正ニ關スル件ヲ公布セリ共  
ノ譯文左ノ如シ  
明治四十一年六月二日  
統監 公爵伊藤博文

移民保護法中改正ニ關スル件

光武十年法律第二號移民保護法中「農商工部大臣」ヲ「內務大臣」ニ改メ第一條中「目的ヲ以テ」ノ下ニ「日本國以外」ヲ加フ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○統監府告示第八十三號（官報六月六日）  
韓國政府ハ明治四十一年四月十八日內務令第八號ヲ以テ移民保護法施行細則中改正ノ件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

統監 公爵伊藤博文

移民保護法施行細則中改正ノ件

光武十年農商工部令第四十四號移民保護法施行細則中「農商工部大臣」ヲ「內務大臣」ニ改メ第一條中「詳記シ」ノ下ニ「地方長官（京畿道ハ警視總監）ヲ經由シ」ヲ加フ  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

統監 公爵伊藤博文

明治四十一年六月十三日

局名 金化郵便局 位 置 江原道金化郡金化邑

○統監府告示第八十五號（官報六月十七日）  
明治四十一年七月一日ヨリ左記郵便局ヲ設置シ電信事務及韓國國庫金ノ出納保管事務ヲモ取扱ハ

明治四十一年六月十三日

所名 金城郵便所 位 置 江原道金城郡金城邑

統監 公爵伊藤博文

○統監府告示第八十六號（官報六月十七日）  
明治四十一年六月三十日限り左記郵便局所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ各其ノ區別ニ依リ下記郵便局所之ヲ承繼ス

明治四十一年六月十三日

局所名 金城郵便局 位 置 江原道金城郡金城邑

金化郵便所 江原道金化郡金化邑 普通及書留通常郵便物並郵便物集配事務 其ノ他ノ事務 一切ノ事務

○統監府告示第八十七號（官報六月二十二日）

明治四十年五月統監府告示第七十六號渡切經費ノ交付ヲ指定シタル統監府通信官署第二號中「仁川郵便局」ヲ削除シ明治四十一年六月十六日ヨリ之ヲ施行ス

統監 公爵伊藤博文

明治四十一年六月十六日

○統監府告示第八十八號（官報六月二十二日）  
明治四十一年七月二十日ヨリ左記郵便取扱所ヲ設置ス但シ韓國國庫金ノ出納保管事務ハ之ヲ取扱ハズ

統監 公爵伊藤博文

明治四十一年六月十六日

名 稱 雲山金鐵郵便取扱所 位 置 平安北道雲山郡北面歌里橋洞

○統監府告示第八十九號（官報六月二十三日）

明治四十一年七月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始シ鏡城及羅南トノ通話ヲモ取扱ハ

明治四十一年六月十八日

統監 公爵伊藤博文

名 稱 天津郵便局

位 置 咸鏡北道清津敷島町三丁目

○統監府告示第九十號 (官報 六月二十三日)

明治四十一年七月一日ヨリ左記郵便局ノ電話呼出地域ヲ下記ノ通定ス

明治四十一年六月十八日

統監 公爵伊藤博文

天津郵便局

(松島町、日出町、榮町、曙町、橋立町、目賀田町、朝日町、大和町、敷島町、吉川町、常盤町、祝町、幸町、森町、巴町、高砂町、霞町、明治町、相生町、北星町、入船町、彌生町、富貴町、福泉町)

○統監府告示第九十一號 (官報 六月二十七日)

明治四十一年六月三十日限リ左記郵便電信取扱所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局ニ於テ之ヲ承繼ス

明治四十一年六月二十一日

統監 公爵伊藤博文

所 名 咸鏡北道咸鏡城郡龍成社職城

承繼局名 天津郵便局

○統監府告示第九十二號 (官報 六月三十日)

明治四十一年七月一日以降當分ノ内左記郵便局所ヲシテ明治三十七年五月迄信省令第三十七號ニ依リ軍人軍屬ノ振出ス通常爲替ノ取扱ヲ爲サシム

明治四十一年六月二十四日

統監 公爵伊藤博文

局 所 名

公州郵便局 忠清南道公州郡公州邑  
光州郵便局 全羅南道光州郡光州邑  
晉州郵便局 慶尙南道晉州郡晉州邑  
河東郵便電信取扱所 慶尙南道河東郡河東邑  
甲山郵便電信取扱所 咸鏡南道甲山郡甲山邑

嶺川郵便電信取扱所 嶺川郡嶺川邑  
雄基郵便電信取扱所 咸鏡北道慶興府海社雄基  
利川郵便取扱所 京畿道利川郡利川邑  
藍浦郵便取扱所 忠清南道藍浦郡藍浦邑  
河川郵便取扱所 忠清南道河川郡河川邑  
靈巖郵便取扱所 全羅南道靈巖郡靈巖邑

○統監府告示第九十三號 (官報 六月三十日)  
明治四十一年七月一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ郵便電信取扱所トシ下記ノ通改稱ス但シ諺文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治四十一年六月二十四日

統監 公爵伊藤博文

所 名 金海郵便取扱所

位 置 慶尙南道金海郡金海邑

改 稱 金海郵便電信取扱所

○統監府告示第九十四號 (官報 六月三十日)

明治四十一年七月一日ヨリ左記郵便所ニ電信事務ヲ開始ス但シ諺文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治四十一年六月二十四日

統監 公爵伊藤博文

所 名 島致院郵便所

位 置 忠清南道熊川郡北一面島致院

○統監府告示第九十五號 (官報 六月三十日)

明治四十一年七月十一日ヨリ左記郵便所ニ電信事務(諺文電報ヲ除ク)及電話通話事務ヲ開始シ江景及群山間ノ電話通話ヲモ取扱ハシム

順天郵便取扱所 全羅南道順天郡順天邑  
長城郵便取扱所 全羅南道長城郡長城邑  
綾州郵便取扱所 全羅南道綾州郡綾州邑  
咸平郵便取扱所 全羅南道咸平郡咸平邑  
金堤郵便取扱所 全羅北道金堤郡金堤邑  
居昌郵便取扱所 慶尙南道居昌郡居昌邑  
三嘉郵便取扱所 慶尙南道三嘉郡三嘉邑  
靈山郵便取扱所 慶尙南道靈山郡靈山邑  
榮川郵便取扱所 慶尙北道榮川郡榮川邑  
清道郵便取扱所 慶尙北道清道郡下面高樹洞

新溪郵便取扱所  
瑞興郵便取扱所  
長連郵便取扱所  
安岳郵便取扱所  
中和郵便取扱所  
熙川郵便取扱所  
厚昌郵便取扱所  
溫井郵便所  
西湖津郵便所

黃海道新溪郡新溪邑  
黃海道瑞興郡瑞興邑  
黃海道長連郡長連邑  
黃海道安岳郡安岳邑  
平安南道中和郡中和邑  
平安北道熙川郡熙川邑  
平安北道厚昌郡厚昌邑  
平安北道雲山郡古面峯下洞溫井站  
咸鏡南道咸興郡東濱社西湖津

明治四十一年六月二十四日

統監 公爵伊藤博文

所名 論山郵便所 位置 忠清南道恩津郡花枝山而論山

○統監府告示第九十六號(官報六月三十日)

明治四十一年七月十一日ヨリ左記郵便所電話呼出地域ヲ下記ノ通定ム

明治四十一年六月二十四日

統監 公爵伊藤博文

論山郵便所 恩津郡花枝山而論山

登城郡光石而論山 連山郡夫人處而論山 內馬九坪 阿也里新田

○臺灣總督府告示第七十三號(官報六月一日)

安平鎮停車場構内ニ左ノ電信取扱所ヲ設置シ明治四十一年五月二十日ヨリ電信事務ヲ取扱フ

明治四十一年五月十六日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

安平鎮電信取扱所

○臺灣總督府告示第七十四號(官報六月十三日)

打狗港灣浚渫作業ノ爲同港口ニ左記ノ燈火ヲ點ス但シ作業休止ノ場合ハ點火セス

明治四十一年六月五日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

一甲燈

位置 港口ノ右岸ニシテ暴風信號標ハ磁針方位北二十八度東打狗燈臺ハ南四度西ニ當ル

燈火 不動紅色ニシテ水面上ノ高サ十五尺ナリ

一乙燈

位置 港口ノ中央ナル岩礁上ニシテ暴風信號標ハ磁針方位北二十度東打狗燈臺ハ南三十二度

燈火 不動綠色ニシテ水面上ノ高サ六尺ナリ

○臺灣總督府告示第七十五號(官報六月十七日)

明治四十一年六月十七日臺灣總督府始政第十三回紀念ノ爲一、二、三等局、安平支局、臺北郵便局總督官邸郵便出張所ニ於テ當日引受第一種及第二種郵便物ニ對シ左記離形ノ特殊日附印紫藍色ヲ使用セシム但シ公衆ハ希望ニ依リ其ノ翌日ヨリ三日間同日附印ノ捺捺ヲ受クルコトヲ得

明治四十一年六月十日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

特種日附印離形



○臺灣總督府告示第七十六號(官報六月二十二日)

臺灣煙草專賣規則第五條ニ依リ葉煙草收納場所及期日左ノ通相定ム

明治四十一年六月十三日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

區	城	場	所	期	日
臺北縣	大加納堡	林口庄	古亭村庄	項內埔庄	下內埔庄
宜蘭縣	浮洲堡	溪洲庄	中溪洲庄	洲仔庄	叭哩沙庄
					紅柴林庄

六月十五日	六月十五日	六月十五日	六月十五日	六月十五日	六月十五日
九月一日	九月一日	九月一日	九月一日	九月一日	九月一日
十月九日	十月九日	十月九日	十月九日	十月九日	十月九日

東自八月十日	東自八月十日	東自八月十日	東自八月十日	東自八月十日	東自八月十日
至八月十三日	至八月十三日	至八月十三日	至八月十三日	至八月十三日	至八月十三日
十月十五日	十月十五日	十月十五日	十月十五日	十月十五日	十月十五日



苗栗廳 苗栗一堡 芒埔庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄	苗栗廳 苗栗一堡 西山庄	苗栗廳 苗栗一堡 維山庄	苗栗廳 苗栗一堡 嘉山庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄
苗栗廳 苗栗一堡 芒埔庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄	苗栗廳 苗栗一堡 西山庄	苗栗廳 苗栗一堡 維山庄	苗栗廳 苗栗一堡 嘉山庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄
苗栗廳 苗栗一堡 芒埔庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄	苗栗廳 苗栗一堡 西山庄	苗栗廳 苗栗一堡 維山庄	苗栗廳 苗栗一堡 嘉山庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄

苗栗廳 苗栗一堡 芒埔庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄	苗栗廳 苗栗一堡 西山庄	苗栗廳 苗栗一堡 維山庄	苗栗廳 苗栗一堡 嘉山庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄
苗栗廳 苗栗一堡 芒埔庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄	苗栗廳 苗栗一堡 西山庄	苗栗廳 苗栗一堡 維山庄	苗栗廳 苗栗一堡 嘉山庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄
苗栗廳 苗栗一堡 芒埔庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄	苗栗廳 苗栗一堡 西山庄	苗栗廳 苗栗一堡 維山庄	苗栗廳 苗栗一堡 嘉山庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄

苗栗廳 苗栗一堡 芒埔庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄	苗栗廳 苗栗一堡 西山庄	苗栗廳 苗栗一堡 維山庄	苗栗廳 苗栗一堡 嘉山庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄
苗栗廳 苗栗一堡 芒埔庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄	苗栗廳 苗栗一堡 西山庄	苗栗廳 苗栗一堡 維山庄	苗栗廳 苗栗一堡 嘉山庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄
苗栗廳 苗栗一堡 芒埔庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄	苗栗廳 苗栗一堡 西山庄	苗栗廳 苗栗一堡 維山庄	苗栗廳 苗栗一堡 嘉山庄	苗栗廳 苗栗一堡 田寮庄

龍山脚庄	白芒埔庄	頂埔庄	鹽水港廳 下茄苳南堡 三界埔庄	馬稠後庄	恒春廳 宣化里 恒春街	永靖里 射麻裡庄	蚊蟀庄
龍山脚庄	白芒埔庄	頂埔庄	鹽水港廳 下茄苳南堡 三界埔庄	馬稠後庄	恒春廳 宣化里 恒春街	永靖里 射麻裡庄	蚊蟀庄
龍山脚庄	白芒埔庄	頂埔庄	鹽水港廳 下茄苳南堡 三界埔庄	馬稠後庄	恒春廳 宣化里 恒春街	永靖里 射麻裡庄	蚊蟀庄

仁壽里	虎頭山庄	德和里	龍泉水庄	大平頂庄	興文里	車城庄	恒春廳 至厚里 鷺鑿鼻庄	聖東廳 牽榔庄	水尾庄
仁壽里	虎頭山庄	德和里	龍泉水庄	大平頂庄	興文里	車城庄	恒春廳 至厚里 鷺鑿鼻庄	聖東廳 牽榔庄	水尾庄
仁壽里	虎頭山庄	德和里	龍泉水庄	大平頂庄	興文里	車城庄	恒春廳 至厚里 鷺鑿鼻庄	聖東廳 牽榔庄	水尾庄

○臺灣總督府告示第七十七號 (官報 六月二十二日)  
 明治三十八年五月告示第七十號官鹽賣捌所業務擔當人中左ノ通變更ス  
 明治四十一年六月十三日  
 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太  
 楊梅廳鹽務支館 竹内龜七

○臺灣總督府告示第七十八號 (官報 六月二十二日)  
 基隆港内浚渫區域識別用浮標E號及G號ハ浚渫工事ノ爲本月十四日ヨリ當分ノ間之ヲ撤去ス  
 明治四十一年六月十四日  
 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第七十九號 (官報 六月二十七日)  
 淡水港口ニ碇置セル北門洲浮標ハ南方ニ流轉セリ復舊ノ上ハ更ニ告示スヘシ  
 明治四十一年六月十六日  
 臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第八十號 (官報 六月二十八日)

明治四十一年六月二十五日ヨリ鳳山廳小竹上里後庄ニ停車場ヲ設置シ鐵道運輸營業ヲ開始ス其ノ  
哩程左ノ通但シ當分ノ内貨物ハ貸切車扱ヲ爲サス

明治四十一年六月十七日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

自 逕	後 庄
打 狗	七 哩 九 分

○關東都督府告示第五十二號 (官報 六月四日)

官有地ノ調査ヲ行フニ依リ借地人ハ左ノ通心得ヘシ

明治四十一年五月二十二日

關東都督 子爵大島義昌

- 一 借地人ハ別記様式ニ依リ申告書ヲ調製シ指定ノ期日迄ニ土地調査事務所ニ提出スヘシ
- 二 指定区域内ニ於ケル借地人ハ其ノ借地ノ境界ニ地目、地番、氏名ヲ記載シタル幅一寸以上長四尺以上ノ標杭四本以上ヲ建設スヘシ
- 三 前二號ノ期日及區域ハ其ノ時時適宜ノ方法ヲ以テ之ヲ告知ス
- 四 調査吏員ノ要求アルトキハ村會長、借地人及各關係者ハ實地立會ヲナスモノトス

(別記様式)

官有土地申告書

使用者住所	
使用者氏名	
所在地	

地目	
畝(又ハ坪)數	
一箇年收穫高	
現使用料	
使用ノ原因	
右申告候也	
明治 年 月 日	

關東都督府民政部財務課長

殿

右  
何 某 印  
何 某 印  
何 某 印  
何 某 印

○關東都督府告示第五十三號 (官報 六月四日)

旅順水道寺溝水源擴張工事ノ爲明治四十一年五月二十二日以降當分ノ内午後九時ヨリ翌日午前五時迄ノ間ニ於テ時々斷水スルコトアルヘシ

明治四十一年五月二十二日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第五十四號 (官報 六月五日)

明治四十一年五月二十七日海軍紀念日當日旅順郵便局及同局新旅順出張所ニ於テ引受第一種及第

明治四十一年六月 告示 關東都督府第五十三號 第五十四號



ナニ-21

明治四十一年六月 告示 關東都督府第五十七號 第五十八號 第五十九號

一四九四

○關東都督府告示第五十七號 (官報 六月十一日)

旅順水道寺溝水源擴張工事ノ爲夜間斷水中ノ處尙明治四十一年六月三日以降當分ノ内午前十時ヨリ午後四時迄ノ間ニ於テモ時時減水又ハ斷水スルコトアルヘシ

明治四十一年六月三日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第五十八號 (官報 六月二十六日)

明治四十年五月府令第三十二號ニ依ル銀ノ價格ヲ明治四十一年六月七日以降銀一圓ニ付金八十四錢ニ改定ス

明治四十一年六月六日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第五十九號 (官報 六月三十日)

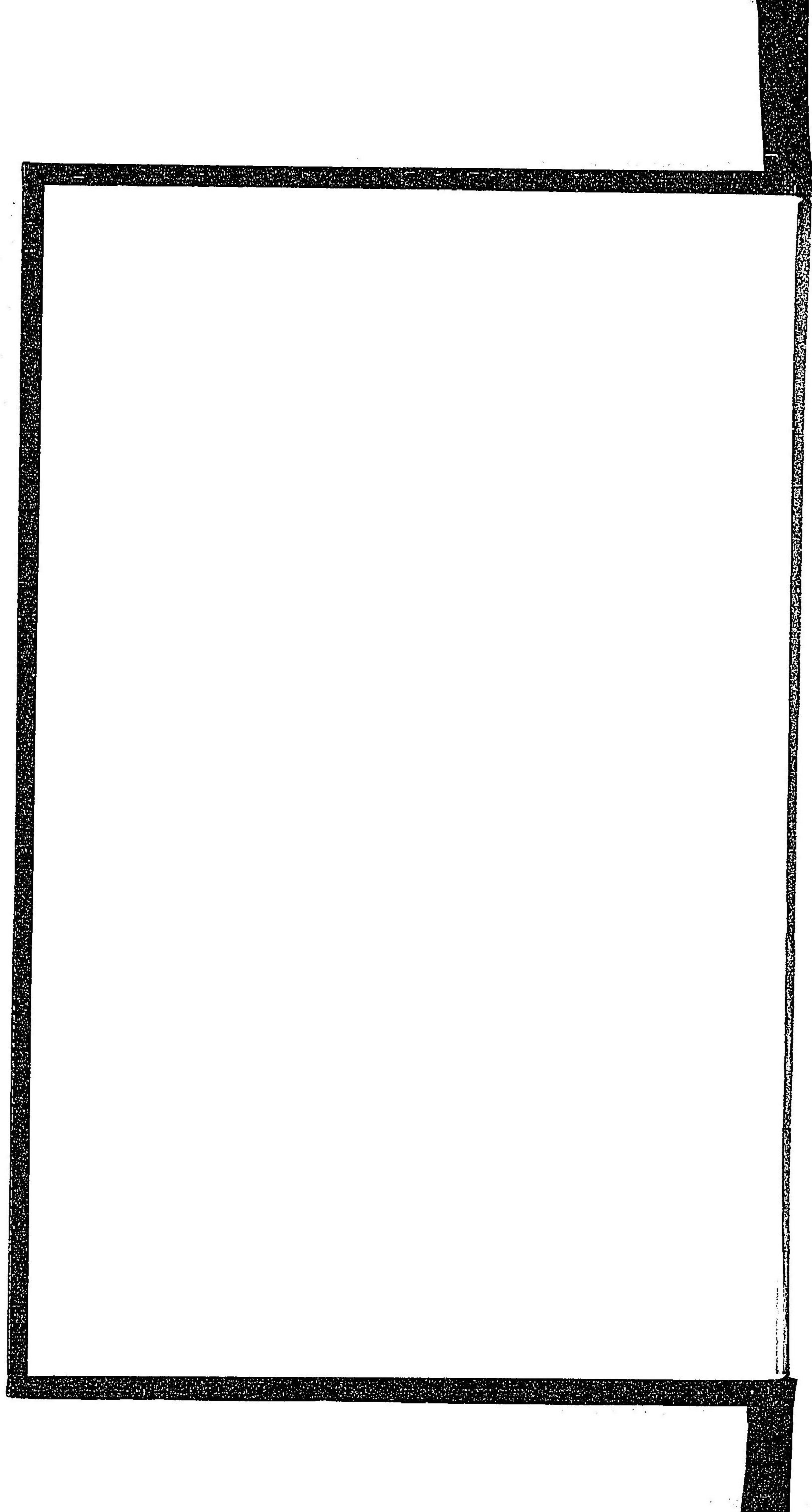
明治四十一年四月告示第三十三號請願巡査費ニ左ノ但書ヲ加フ

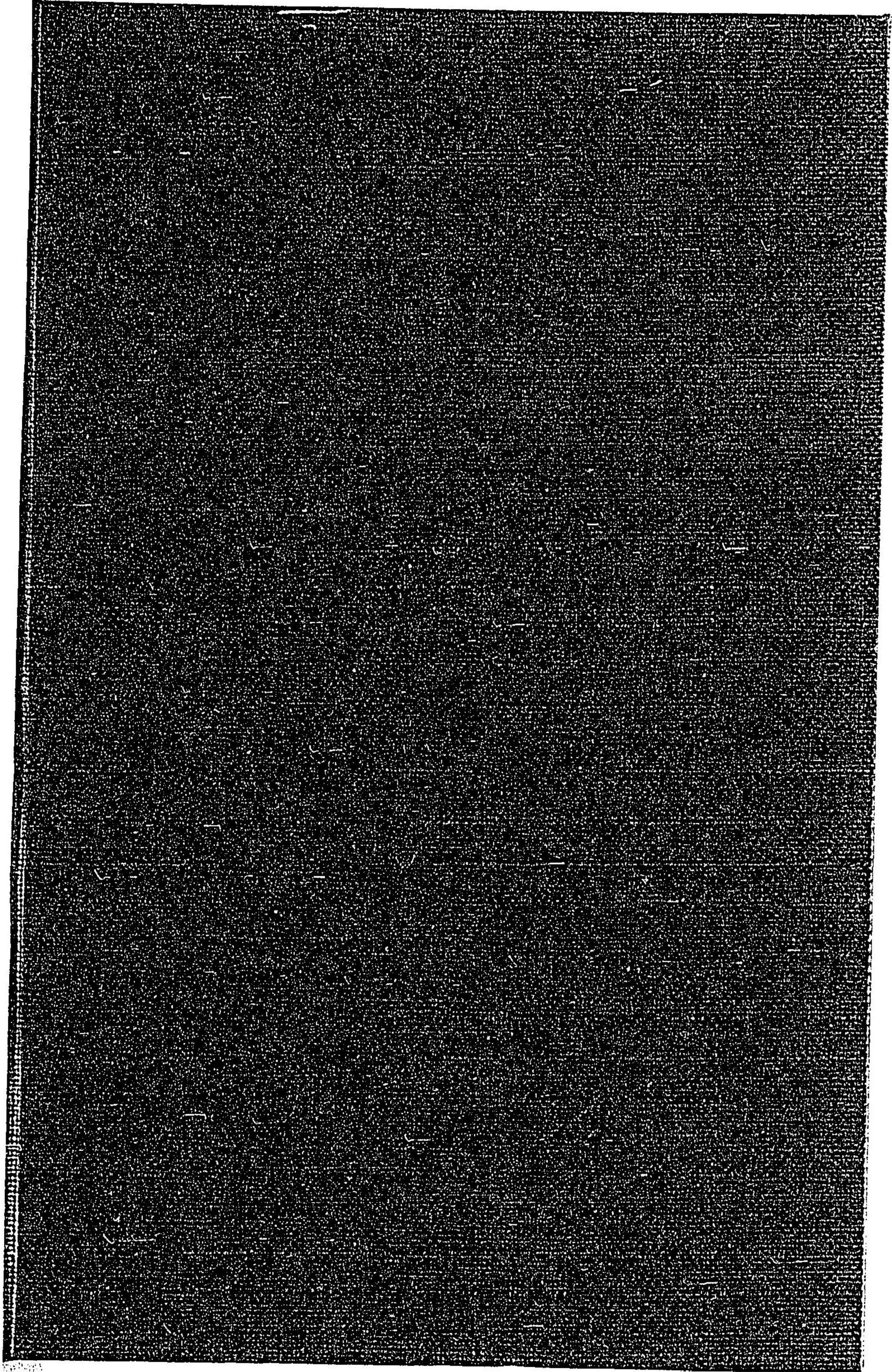
但シ請願者ノ爲ニスル旅行ニ對シテハ警察官吏旅費規則ニ依ル所定ノ旅費ヲ徴收ス

明治四十一年六月十八日

關東都督 子爵大島義昌







031130-115-4

CZ-4-1

法令全書 慶応3年10月-明治45年7月

内閣官報局

M20-45

BBC-1074





